



Informatica® Multidomain MDM
10.3 HotFix 1

リリースノート

Informatica Multidomain MDM リリースノート
10.3 HotFix 1
2019 年 4 月

© 著作権 Informatica LLC 2001, 2019

発行日: 2019-05-28

目次

概要.....	V
第 1 章: バージョン 10.3 HotFix 1.....	6
第 2 章: インストールおよびアップグレード.....	7
サポートの終了.....	7
インストールまたはアップグレード前の手順.....	7
Java Development Kit のインストール.....	7
アップグレード前のサブジェクト領域名の更新.....	8
英語以外の環境での Hub サーバーのインストール.....	8
前提条件の検証をしない Hub サーバーインストール.....	8
エンティティ 360 表示のアップグレードインストール.....	9
Apple Single Sign-On はサポートされない.....	9
IBM 環境.....	9
IBM AIX オペレーティングシステムにおける JBoss 環境での MDM Multidomain Edition のインストール.....	9
IBM AIX 環境でのバージョン 10.1 HotFix 2 からの Hub サーバーのアップグレード.....	10
IBM DB2 環境での埋め込み ActiveVOS のアップグレード.....	10
IBM DB2 での一致ポピュレーションの有効化.....	10
Java 8 を実行している WebSphere IBM DB2 環境でのアップグレード.....	10
WebSphere クラスタ環境での ActiveVOS のインストール.....	10
Linux 環境での WebSphere へのプロセスサーバーのインストール.....	11
プロセスサーバーのインストールおよびアップグレード.....	11
Oracle 環境.....	11
WebLogic Server 認証の無効化.....	12
コンソールモードでの Oracle 環境への Hub サーバーのインストール.....	12
Oracle 環境でのバージョン 9.5.1 からのアップグレード.....	12
Oracle および JBoss 環境でのバージョン 9.7.1 からの Hub サーバーのアップグレード.....	12
Oracle WebLogic 12.2.1.3 以降.....	12
WebLogic サーバー 12.1.3 への Hub サーバーのインストール.....	14
WebLogic クラスタでの Hub サーバーのインストール後のタスク.....	14
英語以外の Oracle および JBoss 環境での PostInstallSetup スクリプトの実行.....	14
JBoss 環境.....	14
JBoss 環境での Hub サーバーのインストール.....	14
JBoss クラスタでのオペレーショナル参照ストアの登録.....	15
JBoss EAP 7.1 での Data Director アプリケーションの展開.....	15
HP-UX、Linux および Solaris 環境.....	15
Solaris 環境および HP-UX 環境での Informatica プラットフォームのサポート.....	15
HP-UX での Hub サーバーのインストール.....	15
サイレントモードでのリソースキットのインストール.....	15

インストールまたはアップグレード後の手順.	16
オペレーショナル参照ストアのアップグレード.	16
変更リスト昇格.	16
ローカライズされたスキーマの更新.	16
Amazon Web サービスにホストされる Multidomain MDM.	17
ActiveVOS マルチテナントモード (Amazon Web サービスの MDM Multidomain Edition) . . .	17

第 3 章 : Multidomain MDM バージョン 10.3 HotFix 1. 18

解消された制限事項.	18
MDM Hub で解消された制限事項.	18
Data Director で解消された制限事項.	21
プロビジョニングツールで解消された制限事項.	30
検索で解消された制限事項.	30
API サービスで解消された制限事項.	32
実装された拡張要求.	33
MDM Hub に実装された拡張要求 (10.3 HF1)	33
プロビジョニングツールに実装された拡張要求 (10.3 HF1)	34
Data Director に実装された拡張要求 (10.3 HF1)	35
既知の制限事項.	35
MDM Hub の既知の制限事項.	35
Data Director の既知の制限事項.	35

第 4 章 : バージョン 10.3. 37

解消された制限事項.	37
MDM Hub で解消された制限事項 (10.3)	37
Data Director で解消された制限事項 (10.3)	39
プロビジョニングツールで解消された制限事項 (10.3)	42
SIF API の解消された制限事項 (10.3)	43
実装された拡張要求.	43
MDM Hub に実装された拡張要求 (10.3)	43
Data Director に実装された拡張要求 (10.3)	44
既知の制限事項.	44
MDM Hub の既知の制限事項.	44
Data Director の既知の制限事項.	47
プロビジョニングツールの既知の制限事項.	51
ビジネスエンティティサービスの既知の制限事項.	52
Solr を使用した検索の既知の制限事項.	53
ビジネスプロセス管理の既知の制限事項.	55
Resource Kit の既知の制限事項.	56
サンプルのオペレーショナル参照ストアの既知の制限事項.	56
サービス統合フレームワークの既知の制限事項.	57
Informatica プラットフォームの既知の制限事項.	57
Informatica Data Controls の既知の制限事項.	57

概要

『*Informatica Multidomain MDM のリリースノート*』には、このリリースの既知の制限事項に関する重要な情報が記載されています。Informatica^(R) Multidomain MDM をインストールする前に、このドキュメントをよくお読みください。

第 1 章

バージョン 10.3 HotFix 1

Multidomain MDM10.3 HotFix 1 は、バージョン 10.x コード行の最新リリースです。

このリリースには次の項目が含まれます。

- *Multidomain MDM* のリリースガイドに記載されている新しい機能。
- バージョン 10.3 でリリースされた、解消された問題、機能および変更された動作のすべて。
- バージョン 10.2 から 10.2 HotFix 2 でリリースされた、解消された問題、機能および変更された動作のすべて。
- バージョン 10.1 から 10.1 HotFix 5 でリリースされた、解消された問題、機能および変更された動作のすべて。
- バージョン 10.0 から 10.0 HotFix 5 でリリースされた、解消された問題、機能および変更された動作のすべて。

このリリースには次の項目が含まれていません。

- 10.1 HotFix 6 および 10.1 HotFix 7 でリリースされた、解消された問題、機能および変更された動作の一部。
- 10.2 HotFix 3 でリリースされた、解消された問題、機能および変更された動作の一部。
- 任意のバージョンの EBF でリリースされた、解消された問題、機能および変更された動作の一部。

このリリースに統合されなかった問題は、既知の制限事項として記載されています。[「既知の制限事項」 \(ページ 35\)](#)を参照してください。

重要: 今後のすべての HotFix または緊急バグフィックスリリースで、バージョン 10.3 以降がインストールされていることが要求されます。

第 2 章

インストールおよびアップグレード

Multidomain MDM には製品のインストールおよびアップグレードに関連する既知の制限事項があります。始める前に、これらの問題を確認します。mm

サポートの終了

バージョン 10.3 HotFix 1 以降、次のアプリケーションサーバーバージョンのサポートが終了します。

7.1 よりも前のバージョンの Red Hat JBoss Enterprise Application Platform

Multidomain MDM 10.3 HotFix 1 は、7.1 よりも前のバージョンの JBoss EAP をサポートしません。Red Hat for JBoss EAP 6.x のメンテナンス終了日は 2019 年 6 月です。Red Hat からのサポート、バグフィックス、セキュリティパッチを継続するには、JBoss EAP 7.1 および Multidomain MDM 10.3 HotFix 1 にアップグレードすることをお勧めします。

バージョン 9.0 Fix Pack 10 よりも前の IBM WebSphere

Multidomain MDM 10.3 HotFix 1 は、9.0 Fix Pack 10 よりも前のバージョンの WebSphere をサポートしません。IBM WebSphere アプリケーションサーバーバージョン 9.0 Fix Pack 10 で Multidomain MDM を展開する必要があります。

インストールまたはアップグレード前の手順

既知の制限事項の中には、インストールまたはアップグレードの実行に影響を与える可能性のあるものもあります。発生する可能性のある問題を回避するには、次の問題を確認し、アップグレード前に回避策を完了します。次に、環境に特有なインストールおよびアップグレードの問題を確認します。

Java Development Kit のインストール

Oracle Java Runtime Environment (JRE) を使用する場合は、Hub コンソールを起動するマシンに JRE 1.8 のアップデート 144 以降をインストールします。Hub コンソールのバッチビューアには、JRE 1.8 のアップデート 144 以降が必要です。

Red Hat OpenJDK 8 を使用する場合は、Hub コンソールを起動するクライアントマシンに IcedTea-Web Java Web Start 実装をインストールします。Red Hat OpenJDK 8 は Java Web Start 実装を自動的にインストールしないため、Hub コンソールを起動する必要があります。

ヒント: IcedTea-Web Java Web Start を使用すると、Hub コンソールを起動する時間が長くなります。パフォーマンスを改善するには、`javaws -Xclearcache` コマンドを実行してキャッシュを定期的に消去します。

(MDM-18910、MDM-24133)

アップグレード前のサブジェクト領域名の更新

サブジェクト領域名の先頭が数字でないことを確認します。サブジェクト領域名の先頭が数字の場合は、名前を変更して先頭を英字にします。サブジェクト領域名の先頭が数字の場合は、MDM Hub によって生成されるビジネスエンティティ設定によりリポジトリマネージャ検証エラーが発生します。ビジネスエンティティ設定を使用しない場合は、先頭が数字であるサブジェクト領域名を引き続き使用できます。(HORA-51906)

英語以外の環境での Hub サーバーのインストール

英語以外の言語で MDM Hub をインストールし、JDK 1.8 以降を使用すると、Hub サーバーのインストーラの起動に失敗します。

回避策: インストーラを起動するには、コマンドプロンプトを開き、Hub サーバーのインストールディレクトリに移動して、次のコマンドを入力します。

```
hub_install.exe -l <language code>
```

ここで、<language code>は優先言語です。言語コードは、言語が以下のいずれかである場合に使用します。

言語	言語コード
ポルトガル語	pt_BR
フランス語	fr
ドイツ語	de
日本語	ja
韓国語	ko
ロシア語	ru
簡体字中国語	zh_CN
スペイン語	es

(MDM-14224)

前提条件の検証をしない Hub サーバーインストール

前提条件の検証なしで Hub サーバーのインストーラを実行する場合、データベースパスワードのプロンプトにダミーの値が必要です。

1. 前提条件の検証なしで Hub サーバーのインストーラを起動するには、以下のコマンドを実行します。

```
hub_install.bin -DSIPERIAN_INSTALL_PREREQ_VALIDATION=false
```

2. データベースパスワードが要求されたら、ダミーの値を入力します。

インストールが続行されます。ダミーの値を指定しないと、インストールが失敗します。(MDM-10975)

エンティティ 360 表示のアップグレードインストール

Hub サーバーをアップグレードする際、タイムアウトエラーのために entity360view.ear がインストールできないことがあります。

回避策: インストールコンポーネント、patchInstallSetup または postInstallSetup を再実行します。

または、<MDM Hub installation directory>/hub/server/bin フォルダから次のコマンドを実行します。

```
./sip_ant.sh -Dentity360view.ear.dodeploy=true deploy.entity360view-ear
```

(HORA-52008)

Apple Single Sign-On はサポートされない

このバージョンの Informatica MDM Multidomain Edition では、Informatica Data Director と Apple SSO は連動しません。(MDM-6906)

IBM 環境

次の問題は、Multidomain MDM が IBM AIX、IBM DB2 または IBM WebSphere とともにインストールされる時に影響を与えます。

IBM AIX オペレーティングシステムにおける JBoss 環境での MDM Multidomain Edition のインストール

Red Hat が設定をサポートしないため、IBM AIX オペレーティングシステムで実行する Red Hat JBoss EAP 7.1 には複数の問題が発生します。Red Hat でサポートされる JBoss EAP 7.1 の設定を確認するには、<https://access.redhat.com/articles/2026253> を参照してください。

JBoss と AIX 環境内の Multidomain MDM には、次の既知の問題があります。

- MDM-16939。posinstallSetup スクリプトを Hub サーバーインストールの一部としてまたはインストール後に実行すると、uiwebapp-ear.ear が適用されない。回避策については、Informatica グローバルカスタムサポートまでお問い合わせください。
- MDM-23460。ActiveVOS ワークフローを使用すると、タスクの承認が失敗する。既知の回避策はありません。
- MDM-23416。レコードを作成すると、次のエラーが発生する。SIP-09051: 入力ソースの XML 解析問題 (不明な systemId)。処理の途中でファイルの終わりに達しました。

既知の回避策はありません。

今後のリリースでこの問題を解決する予定ですが、すべての問題が解決される保証はありません。

Multidomain MDM 環境でこのようなアプリケーションサーバーとオペレーティングシステムの組み合わせを使用しないことを強くお勧めします。

IBM AIX 環境でのバージョン 10.1 HotFix 2 からの Hub サーバーのアップグレード

IBM AIX 環境で Hub サーバーをバージョン 10.1 HotFix 2 からアップグレードすると、entity360view.ear ファイルのデプロイに失敗する。

回避策: patchInstallSetup.sh スクリプトを手動で実行します。スクリプトの実行の詳細については、*Multidomain MDM のアップグレードガイド*を参照してください。

(MDM-14777)

IBM DB2 環境での埋め込み ActiveVOS のアップグレード

IBM DB2 環境では、アップグレード前に、ActiveVOS データベース接続プロパティを<MDM Hub installation directory: MDM Hub のインストールディレクトリ>/hub/server/bin の build.properties ファイルに追加します。

次のサンプルは、サンプルエントリが含まれる ActiveVOS データベース接続プロパティを示しています。

```
activevos.db.type=db2
activevos.db.server=localhost
activevos.db.port=50000
activevos.db.user=AVOS
activevos.db.dbname=INFA102
activevos.db.schemaname=AVOS
activevos.db.jdbc.url=jdbc:db2://localhost:50000/INFA102
activevos.b4p.url=http://localhost:9080/active-bpel/services/AeB4PTaskClient-taskOperations
```

(MDM-13104)

IBM DB2 での一致ポピュレーションの有効化

IBM DB2 環境にプロセスサーバーをインストール後、マッチルードで使用する一致ポピュレーションを有効化する必要があります。一致ポピュレーションを有効化する手順については、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。(HORA-52288)

Java 8 を実行している WebSphere IBM DB2 環境でのアップグレード

Java 8 を実行している WebSphere IBM DB2 環境で MDM Hub をアップグレードした後に、Hub コンソールが起動しない。

回避策: クライアントマシンで Java 7 を使用します。

(MDM-12036)

WebSphere クラスタ環境での ActiveVOS のインストール

WebSphere クラスタ環境で埋め込み ActiveVOS をインストールすると、ActiveVOS コンソールの MDM ID サービスプロバイダに接続できなくなります。

回避策: Hub サーバー、埋め込み ActiveVOS、プロセスサーバーのインストール後に、以下の手順を実行します。

1. ActiveVOS の install.properties ファイルで、install.web.application を false に設定します。
2. ActiveVOS インストールディレクトリの deployer.xml ファイルで、次のコードをコメントアウトします。

```
<!-- <target name="deploy.resources" depends="deploy.timer.manager,deploy.work.manager"/>
<target name="deploy.timer.manager">
```

```

<echo message="${basedir}"/>

<run.wsadmin script="${basedir}
/scripts/timermanager.jacl"/>
</target>
<target name="deploy.work.manager">
<run.wsadmin script="${basedir}/scripts/workmanager.jacl"/>

<run.wsadmin script="${basedir}
/scripts/systemworkmanager.jacl"/>
</target>
<target name="deploy.jaas">
<run.wsadmin script="${basedir}/scripts/jaaslogin.jacl"/>

</target>

<target name="deploy.apps">

<run.wsadmin script="${basedir}
/scripts/installapp.jacl"/>
</target> -->

```

3. <MDM installation directory>/hub/server/bin ディレクトリで、次のコマンドを実行します。

```

sip_ant.bat deploy_mdm_identity_resolution
sip_ant.bat deploy_avos_server

```

4. ActiveVOS EAR ファイルをデプロイします。EAR ファイルのデプロイの詳細については、*Multidomain MDM* のインストールガイドを参照してください。

(MDM-13269)

Linux 環境での WebSphere へのプロセスサーバーのインストール

プロセスサーバー EAR ファイルをデプロイすると、次のエラーが発生する場合があります。

Too many open files. Unable to start cleanse ear.

回避策: Linux で ulimit パラメータの値を大きくします。

(MDM-13618)

プロセスサーバーのインストールおよびアップグレード

Linux 環境の WebSphere に MDM Multidomain Edition for IBM DB2 のインストールまたはアップグレードを行うと、postInstallSetup スクリプトが javax.management.MBeanException エラーで失敗することがある。

postInstallSetup スクリプトが失敗した場合、次のタスクを実行します。

- ▶ WebSphere を停止して起動する。
プロセスサーバーが起動します。

(MDM-10850)

Oracle 環境

以下の問題は、Multidomain MDM が Oracle データベースまたは Oracle WebLogic とともにインストールされる場合に影響を与えます。

WebLogic Server 認証の無効化

MDM Hub は、WebLogic Server 認証を無効にする必要がある HTTP 基本認証を使用します。WebLogic Server 認証を無効にするには、config.xml ファイルを編集します。

1. 次の WebLogic ディレクトリに移動します。
`<WebLogic installation directory>/user_projects/domains/<user domain>/config`
2. テキストエディタで config.xml ファイルを開きます。
3. `<security-configuration>` 要素内に次の要素を追加します。
`<enforce-valid-basic-auth-credentials>
false
</enforce-valid-basic-auth-credentials>`

コンソールモードでの Oracle 環境への Hub サーバーのインストール

コンソールモードで Oracle 環境に Hub サーバーをインストールするための、インストール前のサマリに詳細が記載されていません。Informatica プラットフォームをインストールしないことを選択すると、サマリの「Informatica プラットフォームのインストールの見出し」に、[No] でなく空白が表示されます。
(HORA-51944)

Oracle 環境でのバージョン 9.5.1 からのアップグレード

Oracle 環境で Hub サーバーをバージョン 9.5.1 からアップグレードする場合、アップグレードは正常に完了しますが、ログに次のエラーが記録されます。

```
19:26:22,012 INFO ImporterRole:44 - ddl: CREATE ROLE PROXY_ROLE ORA-01031: 特権が不足しています
```

このエラーは無視しても問題ありません。(HORA-51980)

Oracle および JBoss 環境でのバージョン 9.7.1 からの Hub サーバーのアップグレード

バージョン 9.7.1 からアップグレードする場合、ActiveVOS のデータソースの作成中にアップグレードに失敗します。

回避策: `<JBoss installation directory>/standalone/configuration/standalone-full.xml` ファイルを開き、ActiveVOS データソースおよび JDBC ドライバを指定するコード行をコメントアウトします。(MDM-8616)

Oracle WebLogic 12.2.1.3 以降

Oracle WebLogic バージョン 12.2.1.3 を Multidomain MDM バージョン 10.3 とともに使用する場合、既知の制限事項に対処するために、次の追加の手順が必要です。

WebLogic 12.2.1.3 以降へのパッチの適用

WebLogic 12.2.1.3 環境に次のパッチが含まれていることを確認します。p26923558_122130_Generic.zip
(MDM-18967)

WebLogic 12.2.1.3 以降用の Java 仮想マシンの設定

Java 仮想マシン (JVM) を設定するには、JAVA_OPTIONS 環境変数を使用して、Java のオプションを設定します。

Java のオプションは、次のファイルで設定できます。

UNIX の場合:<WebLogic domain: WebLogic ドメイン>/bin/setDomainEnv.sh

Windows の場合:<WebLogic domain: WebLogic ドメイン>\bin\setDomainEnv.cmd

次の表で、Java のオプションを説明します。

Java のオプション	説明
-Djavax.wsdl.factory.WSDLFactory	デフォルトの名前空間のプレフィックスを含むサービス WSDL を呼び出す必要があります。 次の値を設定します。com.ibm.wsdl.factory.WSDLFactoryImpl
-DANTLR_USE_DIRECT_CLASS_LOADING	MDM Hub がデプロイされた WebLogic Server を起動する必要があります。true に設定します。

Hub サーバーのビルドプロパティの更新

Hub サーバーの build.properties ファイルを編集して次のプロパティを設定します。

```
weblogic.version=10.x
```

(MDM-22366)

リソースキットの.ear ファイルのデプロイ

リソースキットをインストールする場合、.ear ファイルは自動的にデプロイされません。sip_ant スクリプトのクラスパスを編集し、インストール後スクリプトを実行して、.ear ファイルを WebLogic 管理コンソールからデプロイします。

注: 以下の手順例では、.sh ファイルを参照し、UNIX システムの構文を使用します。

1. インストール後に失敗した場合、次のディレクトリに移動します。
<MDM Hub installation directory: MDM Hub のインストールディレクトリ>/hub/server/resourcekit/bin
2. sip_ant.sh ファイルを開きます。
3. 次のテキストを探して削除します。\$WLS_CLASSPATH:
\$JAVA_HOME/jre/bin/java \
\$USER_INSTALL_PROP \
-Xmx512m -classpath \
\$SIP_HOME/deploy/lib/ant.jar:\$SIP_HOME/deploy/lib/ant-launcher.jar:\$SIP_HOME/deploy/lib/ant-nodeps.jar:
\$WLS_CLASSPATH
\
org.apache.tools.ant.Main \
\$PARAM
4. ファイルを保存します。
5. を実行。/postinstall.sh -Dweblogic.password=<password>。
プロセスは生成された.ear ファイルを次の場所に保存します。 <MDM Hub installation directory: MDM Hub のインストールディレクトリ>/hub/server/resourcekit/bin/deploy/deployed_ears。
6. WebLogic 管理コンソールを開き、生成された.ear ファイルをデプロイします。
(MDM-22847)

WebLogic サーバー 12.1.3 への Hub サーバーのインストール

WebLogic Server 12.1.3 をインストールする場合は、必ず JDK 8 update 20 を使用してください。

Hub サーバーを WebLogic サーバー 12.1.3 にインストールする場合、次のいずれかのインストールオプションを検討してください。

- WebLogic サーバー 12.1.3 がインストールされているディスクドライブに Hub サーバーをインストールする。
- Hub サーバーと WebLogic サーバー 12.1.3 を別々のディスクドライブにインストールするが、Hub サーバーインストールディスクドライブに、WebLogic サーバー 12.1.3 インストールディスクドライブへの参照を含むシンボリックリンクを作成する。

Hub サーバーを WebLogic サーバー 12.1.3 とは異なるディスクドライブにインストールする場合、postInstallSetup および patchInstallSetup スクリプトは失敗します。

(MDM-8032)

(MDM-12784)

WebLogic クラスタでの Hub サーバーのインストール後のタスク

管理対象サーバーのみへのデプロイメントで Hub サーバーを WebLogic クラスタ環境にインストールする場合、インストール後にデータソースを手動で作成します。(MDM-10636)

英語以外の Oracle および JBoss 環境での PostInstallSetup スクリプトの実行

英語以外のロケールで Oracle および JBoss の環境にインストールすると、インストールプロセス中は postInstallSetup スクリプトが実行されない。

回避策: インストール後に postInstallSetup スクリプトを実行して、EAR ファイルをデプロイします。詳細については、『*Multidomain MDM のインストールガイド*』を参照してください。(MDM-8731)

JBoss 環境

次の問題は、Multidomain MDM が JBoss およびデータベース環境とともにインストールされるときに影響を与えます。

JBoss 環境での Hub サーバーのインストール

JBoss 環境で Hub サーバー EAR ファイルをデプロイすると、例外 concurrent.RejectedExecutionException が発生してデプロイメントが失敗する場合があります。

回避策: standalone-full.xml ファイルでタスクキューの長さを長くします。次のサンプルは、変更する queue-length count パラメータを示しています。

```
<long-running-threads>
  <core-threads count="50"/>
  <queue-length count="300"/>
  <max-threads count="50"/>
  <keepalive-time time="10" unit="seconds"/>
</long-running-threads>
```

(MDM-13340)

JBoss クラスタでのオペレーショナル参照ストアの登録

JBoss クラスタ環境でオペレーショナル参照ストアを登録できるようにするには、standalone-full.xml ファイルで<datasources>定義を設定します。

1. 次のディレクトリにある standalone-full.xml ファイルを開きます。

<JBoss Installation Directory>/standalone/configuration

2. <datasources>定義を設定して変更内容を保存します。

(MDM-10952)

JBoss EAP 7.1 での Data Director アプリケーションの展開

JBoss EAP 7.1 環境で MDM Hub をインストールまたはアップグレードすると、Data Director コンフィギュレーションマネージャでアプリケーションの展開ステータスが失敗と表示される。

Hub コンソールの Repository Manager ツールを使用して、オペレーショナル参照ストアが検証されていることを確認します。検証後、Data Director コンフィギュレーションマネージャを使用してアプリケーションを再展開します。

(MDM-24559、MDM-24415)

HP-UX、Linux および Solaris 環境

次の問題は、Multidomain MDM が HP-UX、Linux または Solaris オペレーティングシステムにインストールされるときに影響を与えます。

Solaris 環境および HP-UX 環境での Informatica プラットフォームのサポート

MDM Multidomain Edition と Informatica プラットフォームの組み合わせを Solaris 環境および HP-UX 環境で使用することはできません。(MDM-14971)

HP-UX での Hub サーバーのインストール

HP-UX 環境で Hub サーバーをインストールすると、postInstallSetup スクリプトが失敗します。

回避策: インストールが失敗した後で、postinstallsetup スクリプトを手動で実行します。または、インストールプロセス中に postinstallsetup スクリプトを実行するよう要求されたときに、postInstallSetup スクリプトを後で実行することを選択します。後で、postinstallsetup スクリプトを手動で実行します。(MDM-11092)

サイレントモードでのリソースキットのインストール

リソースキットのサイレントインストールが Linux 環境で失敗する。

回避策: グラフィカルモードまたはコンソールモードでリソースキットをインストールします。(MDM-10803)

インストールまたはアップグレード後の手順

既知の制限事項の中には、インストールまたはアップグレードの実行に影響を与える可能性のあるものもあります。発生する可能性のある問題を回避するには、次の問題を確認し、アップグレード後に回避策を完了します。

オペレーショナル参照ストアのアップグレード

オペレーショナル参照ストアをアップグレードすると、アップグレードは成功するが、次のエラーが sip_ant ログに表示されます。

```
[exec] CREATE SEQUENCE "C_REPOS_ZDT_EVENT_SEQ" MINVALUE 1 MAXVALUE 999999999999  
        INCREMENT BY 1 START WITH 1 CACHE 20 NOORDER CYCLE  
[exec] *  
[exec] ERROR at line 1:  
[exec] ORA-00955: name is already used by an existing object  
[exec]
```

回避策: このエラーは無視しても問題ありません。

(MDM-14070)

変更リスト昇格

変更リストを空のオペレーショナルリファレンスストアに昇格させるには、MDM Hub によって外部マッチ入力テーブルに追加されるマッチカラムの長さが 4000 以下である必要があります。マッチカラムの長さは、マッチカラムのソースであるすべてのベースオブジェクトのカラムの長さとのソースカラム数の合計です。

マッチカラムの合計長が 4000 を超える場合、変更リスト昇格は失敗し、以下のエラーが表示されます。

```
ORA-00910: specified length too long for its datatype  
(HORA-52116)
```

ローカライズされたスキーマの更新

アップグレード前のスキーマにローカライズされたルックアップテーブルが含まれる場合、アップグレード後に検証エラーが表示されることがあります。

バージョン 10.2.x でローカライズされたルックアップテーブルの場合、メタデータの検証プロセスは次のタイプのエラーを生成します。

```
SIP-MV-22000 The name attribute for DB bundle [<lookup table name>.dbBundleMapping] is not defined in the configuration
```

回避策:

1. dbBundleConfig.xml ファイルを C_REPOS_CO_CS_CONFIG リポジトリテーブルからダウンロードします。
2. dbBundleConfig.xml ファイルで、name=<lookup table name> パラメータを bundle 要素から mapping 要素にコピーします。

例えば、次のスニペットでは編集された mapping 要素を示します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>  
<dbBundleConfiguration xmlns="http://www.example.com/mdm/db-bundle-configuration">  
  <bundle name="LUCountry" hubObject="C_LU_COUNTRY_LCL">  
    <mapping name="LUCountry" keyColumn="COUNTRY_CD" countryColumn="COUNTRY_CODE"  
      languageColumn="LANGUAGE_CODE" valueColumn="LOCALIZED_STRING"/>  
  </bundle>  
  <bundle name="LUState" hubObject="C_LU_STATE_LCL">  
    <mapping name="LUState" keyColumn="STATE_CD" countryColumn="COUNTRY_CODE" languageColumn="LANGUAGE_CODE"  
      valueColumn="LOCALIZED_STRING"/>  
  </bundle>  
</dbBundleConfiguration>
```

```
</bundle>
<bundle name="LUCountry.LUState" hubObject="C_LU_STATE_LCL">
<mapping name="LUCountry.LUState" keyColumn="STATE_CD" countryColumn="COUNTRY_CODE"
languageColumn="LANGUAGE_CODE" valueColumn="LOCALIZED_STRING"/>
</bundle>
</dbBundleConfiguration>
```

3. 編集された dbBundleConfig.xml ファイルを C_REPOS_CO_CS_CONFIG リポジトリテーブルにアップロードします。
 4. メタデータの検証を実行します。
- (MDM-21752)

Amazon Web サービスにホストされる Multidomain MDM

Informatica Cloud ホスティングサービスが Amazon Web Services (AWS) で Multidomain MDM のインスタンスを管理する場合、次の問題を確認してください。

ActiveVOS マルチテナントモード (Amazon Web サービスの MDM Multidomain Edition)

Informatica Cloud ホスティングサービスが AWS で MDM Multidomain Edition のインスタンスを管理する場合、URL には顧客 ID が含まれます。ActiveVOS マルチテナント機能には、URL の変更に関する制限があります。

回避策: BE ActiveVOS ワークフローアダプタを使用し、ユーザーを TenantGroup ロールに追加します。

(MDM-15600)

第 3 章

Multidomain MDM バージョン 10.3 HotFix 1

この章では、以下の項目について説明します。

- [解消された制限事項, 18 ページ](#)
- [実装された拡張要求, 33 ページ](#)
- [既知の制限事項, 35 ページ](#)

解消された制限事項

MDM Hub で解消された制限事項

以下の表に解消された制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-24742	POST REST API 要求で削除状態のレコードを更新しても、Hub 状態インジケータが-1 のまま変化しない。
MDM-24396	論理関数カテゴリの Compare Floats クレンジング関数を使用して BigDecimal 値をテストすると、次の例外が発生してテストが失敗する。 <code>java.lang.ClassCastException: java.math.BigDecimal cannot be cast to java.lang.Double</code>
MDM-24262	レコードをロードバッチジョブを介して更新し、受信状態が削除されても、すべての相互参照レコードの既存の状態が削除に変更されない。
MDM-24182 MDM-21143	アップグレード後、オペレーショナルリファレンスストア（ORS）のメタデータ検証で null ポインタ例外が発生して失敗する。
MDM-24053	サポートツールで SQL インジェクションを回避できるようになりました。
MDM-23895	<code>cmx.server.datalayer.cleanse.working_files</code> プロパティが FALSE に設定しても、クレンジングジョブ中に一時ファイル（*.dat）が削除されない。このため、ファイルシステムディスク容量が過剰に使用される。

参照番号	説明
MDM-23858 MDM-9293	ファジー検索操作で GETLISTLimit プロパティが考慮されるが、cmx.server.match.max_return_records_searcher プロパティが無視され、返されるレコード数が制限される。
MDM-23855	変更リストを使用してデータをインポートし、階層に変更を昇格すると、インポート操作と昇格操作が失敗する。
MDM-23834	ベースオブジェクトでフィルター一致ルールを使用すると、一致ジョブが失敗する。
MDM-23368	Multidomain MDM マルチノード環境でロードバランサを使用すると、Hub コンソールの起動が失敗する。
MDM-23317 MDM-18807	解消されたセキュリティの問題。
MDM-23316 MDM-16183	IBM DB2 で外部一致を実行すると、処理中に一時テーブルがスキーマに作成され、次のエラーが発生する。 SIP-16107: SQL Exception.Error was: DB2 SQL Error: SQLCODE=-552, SQLSTATE=42502, SQLERRMC=PMDMWAS;IMPLICIT CREATE SCHEMA, DRIVER=3.69.49 CREATE TABLE SESSION.T\$MA_6061757004406685149088310 AS
MDM-23308 MDM-21096	IBM DB2 環境で、階層マネージャを有効にすると、DB2 エラーで失敗する。
MDM-23295 MDM-20337	MdmKeyStore クラスを使用するときに、ファイル記述子のリークが FileNotFoundException エラーを引き起こす。
MDM-23294 MDM-22245	[完全一致] カラムにパイプ記号が含まれると、Data Director でレコードの一致候補を表示する場合にエラーが発生する。
MDM-23271 MDM-17191	自動化ツールの実行が終了した後で、ツールがスキーマの書き込みロックを保有している。
MDM-23249 MDM-12455	マージレコードをマージ解除し、ベストバージョンオブジェクトを再計算した場合、ベースオブジェクトレベルで最終更新日が更新されない。
MDM-23100 MDM-6419	Hub コンソールを使用してロードジョブが含まれるバッチグループを実行しても、ログが実行されたロードジョブを識別しない。[制御およびログ] パネルでは、ログの [ジョブ名] カラムにロードジョブ名以外の情報が含まれています。
MDM-23081 MDM-17047	自動マージプロセス中に前方一致レコードが作成されると、プロセスの実行が遅くなる可能性がある。
MDM-23073 MDM-19485	Hub コンソールで変更を昇格するときに、昇格プロセスが想定よりも遅くなる。
MDM-23056	バージョン 10.1 からアップグレードすると、ORS のメタデータ検証で次のエラーが発生して失敗する。 SIP-MV-18001 - Business Entity does not exist.
MDM-23069 MDM-22098	一致テーブルエントリで rowid_object=rowid_object_matched が削除されていないため、一致レコードで自動マージジョブを実行しようとするエラーが発生する。

参照番号	説明
MDM-22964 MDM-17673	createUsers スクリプトを使用すると、パフォーマンスの問題が発生する。
MDM-22846	リソースキットでデータ暗号化ユーティリティを使用して長いテキストを含むファイルを暗号化すると、出力ファイルに 1 行ではなく 2 行の暗号化されたテキストが含まれる。
MDM-22255	ベースオブジェクトデータの削除イベントと子テーブルでの XREF データの削除イベントのメッセージトリガを有効にすると、論理削除バッチロード操作中にメッセージが生成されない。 このリリースではこの既知の制限事項を再現できません。
MDM-21894 MDM-21426 MDM-16147	自動と手動の照合ルールがあり、データが両方のタイプのルールに一致する場合、照合テーブルに重複するエントリが含まれる。
MDM-21644 MDM-17191	自動化ツールの実行が終了した後で、ツールがスキーマの書き込みロックを保有している。
MDM-21437 MDM-15955	Data Director でレコードを一致でないとして選択した後で、自動一致とマージジョブを【一致しないすべての行を一意とする】オプションを指定して実行すると、一致でないとマークしたレコードの統合インジケータが 1 ではなく 2 になる。
MDM-21436 MDM-15987	カスタムクエリで、【更新の強制】オプションを指定してロードジョブと再検証ジョブを実行すると、検証ルールが正常に実行されない。
MDM-21431 MDM-16413	フィールドの信頼がダウングレードされたレコードで複数マージジョブを実行し、結果の XREF レコードのマージを解除すると、XREF レコードに存在しないフィールドの値が HIST テーブルに含まれる可能性がある。
MDM-21351 MDM-21164	大文字小文字が混在したユーザー名で CreateUsers.cmd を実行すると、小文字ではなく大文字小文字が混在したユーザーが保存される。
MDM-21178 MDM-16063	カスタムクエリに多くの結合およびフィルタが含まれる場合、パッケージツールを開くと、Hub コンソールが応答しなくなる。
MDM-21008 MDM-16451	IBM DB2 データベース環境で、データベースのベースオブジェクトを変更し、Hub コンソールから新しいカラムを追加しようとすると、次のエラーが発生する。 SIP-10313: Exception while executing change list: SIP-09089: Error in SQL update: DB2 SQL Error: SQLCODE=-20211, SQLSTATE=428FJ, SQLERRMC=null, DRIVER=3.69.24. DB2 SQL Error: SQLCODE=-20211, SQLSTATE=428FJ, SQLERRMC=null, DRIVER=3.69.24
MDM-20892 MDM-19837	パスワードポリシーを設定し、[制限されたパスワード再利用限度] オプションを有効にすると、新しいユーザーを追加したときに、次のエラーが発生する。 SIP-10318: Cannot manage password history due to data access error. このリリースではこの既知の制限事項を再現できません。
MDM-20062	一致ジョブの後、一致したレコードを削除しても、一致テーブルからこのレコードが削除されない。自動マージジョブを実行すると、アクティブなレコードが削除したレコードとマージされる。

参照番号	説明
MDM-19652	3 つ以上の相互参照レコードが関連付けられているレコードをマージ解除した場合、正しい最終更新日が反映される相互参照レコードは 1 つだけである。
MDM-19610 MDM-17362	ステージジョブが一部のレコードを次のエラーで拒否する。 SIP-11083: Cannot load class.
MDM-19004 MDM-17064	リソースキットの自動化プロパティファイルに、ユーザーの作成に必要な電子メールアドレスを設定するためのプロパティが含まれていない。
MDM-18455 MDM-17622	Data Director で作成されたマージ解除タスクのタイトルが、ActiveVOS スキーマの aeb4ptask テーブルに{\$title}として保存される。
MDM-18353 MDM-16938	複数の操作参照ストアを使用する場合、一部の操作参照ストアで読み込み後のユーザーイグジットプロセスが失敗する。
MDM-17438	読み取り専用のユーザーがタスクを要求できる。
MDM-16675	API 呼び出しを使用してユーザーに ActiveVOS タスクを返す場合、createDateBefore または createDateAfter フィルタを指定していると、この呼び出しに失敗する。
MDM-7786	新しいロールをユーザーに追加すると、オペレーショナル参照ストアが「無効」としてマークされる。

Data Director で解消された制限事項

以下の表に解消された制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-24693	マルチノードクラスタ環境で、Data Director アプリケーションにログインすると、セッション管理レプリケーションに問題があるために失敗する場合があります。
MDM-24460	Okta シングルサインオンを使用して Data Director にログインできない。
MDM-24114 MDM-24033	Chrome で Data Director アプリケーションを起動すると、レコードのフィールド値が長い場合、値が隣接フィールドで重複する。
MDM-24011	ユーザーパスワードにスペースが含まれる場合、Data Director にログインできない。
MDM-23346	MDM Hub に登録されていない LDAP ユーザーが Data Director にログインできない。
MDM-23115	ユーザーの姓名が Hub コンソールに日本語で登録されている場合、このユーザーは Data Director にログインできない。
MDM-21672 MDM-21974 MDM-21826	ホステッド MDM 環境で、Data Director をログアウトし、ブラウザのキャッシュをクリアしてから、ログアウトしたタブを更新すると、404 エラーが発生する。

参照番号	説明
MDM-21390 MDM-16226	パスワードを変更してから、新しく要求されたマージ解除タスクを実行すると、マージ解除プロセスがレコードで実行されないのに、インタフェースメッセージではマージ解除が正常に行われたと表示される。
MDM-21388 MDM-15945	【ホーム】 ページのタスクインボックスで、作成日でタスクをフィルタリングできない。
MDM-19053 MDM-16775	Apache HTTP Server を使用すると、Data Director アプリケーションのロードに時間がかかる。
MDM-18712 MDM-17065	検索結果のエクスポートに失敗する。

ビジネスエンティティを使用する Data Director (E360) で解消された制限事項

エンティティビューはビジネスエンティティに基づいています。これらのビューを使用するには、Data Director アプリケーションをサブジェクト領域からビジネスエンティティにアップグレードします。

以下の表に解消された制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-24394	クレンジングトランスフォーメーションをビジネスエンティティトランスフォーメーションに対するビジネスエンティティビューで使した場合、次の問題が発生する。 - レコードの作成後、レコードが失敗し、ビジネスエンティティビューに表示される。 - クエリ結果からレコードを表示できない。
MDM-24283	特定のユーザーロール用に設定されたレコードビューに同じロールが設定された LDAP からアクセスできない。
MDM-24205	親ビジネスエンティティ内で 1 対多リレーションの子レコードにビジネスエンティティビュー内の 1 対 1 リレーションが含まれる場合、このレコードが【ビジネスエンティティ】ビューに表示されない。同じレコードが【検索結果】ページから開く【レコードプレビュー】ページに表示される。
MDM-23927	関連レコードを表示する関連レコードコンポーネントがレコード間のリレーションの方向を継承しない。この問題は、関連レコード（ビューモード）コンポーネントを使用するレコードビューレイアウトでのみ発生します。この問題を解決するために、コンポーネントとそのプロパティがプロビジョニングツールで更新されました。詳細については、当該リリースの『リリースガイド』および『プロビジョニングツールガイド』を参照してください。
MDM-23776	タスクを追加しても、タスクマネージャのタスク数が自動的に更新されない。
MDM-23763	ビジネスエンティティビューで、クイックスクロールパネルの縦方向のスクロールバーが適切に整列しない。
MDM-23762	レコードを作成し、【保存】を複数回クリックすると、クリックごとに【タスクコメントと添付】ダイアログボックスが表示される。
MDM-23708	【一致レコード】ビューで、ターゲットレコードとマージする重複するレコードを指定すると、次のエラーが表示される場合がある。 <pre>java.math.BigDecimal cannot be cast to java.lang.String</pre>

参照番号	説明
MDM-23677 MDM-23676	マージタスクを開くと、予想以上にパフォーマンスが低下する。
MDM-23542	ファイルをタスクに追加するときに、ファイル名にラテン文字以外が含まれる場合、ファイル名が変更され、ファイルをダウンロードできない。
MDM-23530	ビジネスエンティティビューのレコードに追加されたドキュメントがレコードに関連するタスクをタスクマネージャで開いても表示されない。
MDM-23500	Data Director アプリケーションでローカライズされたメッセージで外部呼び出しを設定した場合、ローカライズされたメッセージが表示されない。
MDM-23456	基本的な 【一致レコード】 ビューで、 【マージのプレビュー】 などのコラムが適切に整列しない場合がある。
MDM-23455	検索クエリを使用してレコードを検索した場合、クエリ結果に依存ルックアップフィールドの値が含まれない。
MDM-23417	【検索コラムのカスタマイズ】 ダイアログボックスを使用して検索結果をカスタマイズした場合、 【すべて追加】 と 【すべて削除】 のアイコンをクリックしてもツールのヒントが表示されない。
MDM-23369	タスクインボックスで、 【作成日】 フィルタが特定の日付しか機能しない。
MDM-23350	ローカライズされたアプリケーションで、タスクインボックスの 【期限】 フィルタの 【期限超過】 オプションがローカライズされた言語で表示されない。
MDM-23408	ビジネスエンティティトランスフォーメーションに対するビューでクレンジングトランスフォーメーションを使用した場合、レコードの更新で検証エラーが発生する。
MDM-23333	Unicode 文字が含まれるレコードを編集および保存した場合、Unicode 文字が破損する。
MDM-23322 MDM-23072 MDM-22479 MDM-16936 MDM-17169	ビジネスエンティティビューで、レコードのラベルの名前が長いと、適切にフォーマットされない。
MDM-23318 MDM-18622	マルチバイトローカライズデータがフィールドラベルとして適切に表示されない。
MDM-23310 MDM-20887	クレンジング SIF 要求を作成すると、Informatica Data Quality クレンジング関数が値を返さない。
MDM-23282 MDM-20677	関連レコードコンポーネントのレコード数が正しくない。
MDM-23261	外部キーを ROWID_OBJECT に設定すると、検索結果およびクエリ結果がルックアップ値を表示しない。
MDM-23260	階層ビューで表示される 【キャンバスに追加】 ダイアログボックスをクリックすると、検索結果を表示するには小さく、使いにくい。

参照番号	説明
MDM-23259	タスクマネージャでタスクパネルからタスクを要求しても、このパネルが「開いているタスク」に自動的に切り替わらない。
MDM-23245	検索結果に整数フィールドと日付フィールドのレコードが含まれると、これらのフィールドのソートが正しく実行されない。数値または日付のソートの代わりに、文字列のソートが適用されます。
MDM-23244	検索結果ページに縦方向のスクロールバーがある場合、 【プレビューの表示】 と 【新しいウィンドウで開く】 のアイコンを使用するには、右にスクロールする必要がある。
MDM-23222 MDM-23034	Internet Explorer で新しいレコードを作成すると、子エンティティのアイコンが表示されない。この問題はこのリリースで発生しません。
MDM-23217	【フォーム】 ビューを使用して子レコードを追加または編集すると、データのクレンジングと標準化が行われない。
MDM-23216 MDM-23211	【相互参照レコード】 ビューに余分な空白と横方向のスクロールバーが表示される。
MDM-23215	ビジネスエンティティビューでクイックスクロールペインの項目を選択すると、画面のすべての項目がスクロールオフされる。
MDM-23214 MDM-22941	ビューの画像フィールドにデフォルトの画像を設定しても、画像が追加されていない場合はデフォルトの画像が表示されない。
MDM-23212	ビジネスエンティティビューの子レコードセクションで、セクションにレコードがなくてもフィルタアイコンが表示される。
MDM-23201	タスクインボックスに不必要な横方向のスクロールが表示される。
MDM-23184 MDM-16753	一部のビジネスエンティティのみが表示されるようにアプリケーションを設定しても、すべてのビジネスエンティティがアプリケーションヘッダーの検索ボックスに表示される。
MDM-23177 MDM-20889	解消されたセキュリティの問題。
MDM-23156	依存ルックアップフィールドに複数のレベルが存在する場合、ルックアップフィールドの 2 番目以降のレベルで、選択したルックアップフィールドに関連付けられた項目の代わりに、すべての項目が表示される。
MDM-23143	ROWID_OBJECT を表示フィールドに設定し、ルックアップフィールドを検索可能に設定した場合、このフィールドを選択しても、 【検索結果】 ページが表示されない。
MDM-23134	スマート検索を有効にして、アプリケーションの検索結果ビューを設定すると、関連レコードコンポーネントで検索結果が表示されない。この問題は関連レコード（ビューモード）コンポーネントのみで発生します。
MDM-22966	【一致レコード】 ビューで 【マージ】 をクリックしても、このボタンが無効にならない。 【マージ】 を再びクリックすると、新しいマージプロセスが開始される。
MDM-22947	【ホーム】 ページにタスクインボックスで利用可能なタスクのリストが表示される場合、タスクのすべての詳細を表示するには、タスクインボックスを横方向にスクロールする必要がある。

参照番号	説明
MDM-22940	タスクマネージャのレビューパネルに複数の縦方向のスクロールバーが表示される。
MDM-22928	履歴ビューのページ周囲に余分なスペースがある。
MDM-22833	【一致レコード】 詳細ビューでカレンダーを開くと、カレンダーに関連付けられた日付フィールドが表示されない場合がある。
MDM-22776	ユーザーインターフェースの言語がフランス語の場合、【類似するレコード】 コンポーネントの【比較】 ボタンが正しく整列しない。
MDM-22772	【タスクマネージャ】 で、タスクの【検索】 ボックスにフィールド入力のヒントが正しく表示されない。
MDM-22759	ユーザーインターフェースがローカライズされた一部の言語に設定され、デフォルトのクエリとしてクエリを設定すると、bad layout エラーが表示される。
MDM-22757	ユーザーインターフェースがローカライズされた一部の言語で、階層ビューでレコードの履歴を表示しようとすると、ユーザーインターフェースのレイアウトが正しく表示されない。
MDM-22753	アプリケーションのローカライズバージョンで、タスクインボックスの一部のユーザーインターフェースがローカライズされていない。
MDM-22738	【相互参照レコード】 ビューで、特定のビジネスエンティティの相互参照レコードを表示する権限を持たないユーザーが、ナビゲーションツリーで関連付けられた子レコードを表示できる。
MDM-22329	子レコードの依存ルックアップフィールドで値リストに現在の値が表示されない。
MDM-21229	Verbose エラーメッセージから情報がリークされる可能性がある。
MDM-20057	【履歴】 ビューで、選択したレコードイベントが強調表示されない。
MDM-18817 MDM-17865	【相互参照】 ページおよび【マージのプレビュー】 ページにページ番号の問題がある。
MDM-18597 MDM-17509	ユーザーロールにビジネスエンティティの作成および読み取り特権が含まれないにもかかわらず、このロールを持つユーザーがビジネスエンティティに関連するタスクを表示できる。
MDM-18009 MDM-16713	タスクに関連付けられた多くのコメントがある場合は、次のエラーが発生する可能性がある。 Comments cannot exceed more than 3968 characters.
MDM-16846	ビジネスエンティティビューで、子レコードフィールドが整列しない。
MDM-15299	検証チェックが実行されても、レコードの検証を有効にしていない場合、検証ステータスが null に設定されない。
MDM-15172	ビジネスエンティティビューで、各子ノードの最初のレコードが強調表示される。

参照番号	説明
MDM-15077	数値フィールドに文字データを入力すると、次の誤解されやすいエラーメッセージが表示される。 Enter a Valid Pattern.
MDM-4710	【ビジネスエンティティ】ビューで、ビジネスエンティティにデータを追加して【適用】をクリックすると、Hub サーバーはデータをクリーンアップせず正しくフォーマットしない。 回避策: 正しいフォーマットでデータをビジネスエンティティビューに表示するには、【保存】ボタンをクリックします。

サブジェクト領域を使用する Data Director で解消された制限事項

従来のビューはサブジェクト領域に基づいています。

以下の表に解消された制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-24491	タスクを承認すると、%などの特殊文字が含まれるファイル名のファイルを追加できない。
MDM-24443	Data Director 設定の変更リストの昇格が失敗する。
MDM-24403 MDM-23973	子サブジェクト領域レコードを削除し、承認に送信できない。
MDM-24349 MDM-24062	タスクを開くと、次のエラーが発生する可能性がある。 java.math.BigDecimal cannot be cast to java.lang.String
MDM-24333	[有効期間] ビューでレコードを開くと、タイムラインイベントのツールヒントに設定したタイムラインの粒度が表示されない。
MDM-24263	サブジェクト領域グループレベルで基本クエリを作成および保存し、リレーションベースオブジェクトカラムを追加すると、エラーが発生する。
MDM-24150	レコードまたはクエリを作成すると、依存ルックアップフィールドに正しい値が表示されない。
MDM-24142	レコードのマージ後、ベースオブジェクトの UPDATED_BY カラムと相互参照レコードが null になる。
MDM-24111	特定のフィールドを表示するようにクエリ結果をカスタマイズしても、結果ページから移動すると、このカスタマイズが保存されない。
MDM-24083 MDM-23219 MDM-23218	アップグレード後、次の場合にビジネスエンティティスキーマ生成が失敗することがある。 - サブジェクト領域でデフォルト値が重複し、異なるロールが設定されている場合、ビジネスエンティティスキーマ生成で次のエラーが発生して失敗する。 ERROR Validation failed for some objects in the object tree The bddApplication name must be set. - サブジェクト領域でデフォルト値が null または空の文字列に設定されていると、ビジネスエンティティスキーマ生成で null ポインタ例外が発生して失敗する。
MDM-24048	レコードの履歴を表示した場合、子レコードの履歴が表示されない。

参照番号	説明
MDM-23983	[XREF] ビューでレコードを開いて【詳細】タブをクリックして子レコードデータを表示すると、エラーが発生する。
MDM-23918 MDM-23590	タイムラインの粒度を秒単位で設定しても、【有効日付を指定しない】ダイアログボックスで時間を秒単位で指定できないため、特定の時間（秒単位）まで有効なレコードを開くことができない。
MDM-23916	タスクインボックスで該当するタスク以外のタスク詳細アイコンが表示されない。
MDM-23798	階層ビューで、多くのリレーションを持つレコードの履歴を表示するのに時間がかかる。
MDM-23653	クエリの結果をエクスポートをすると、タイムラインで有効にしたベースオブジェクトでルックアップとしてマークされていないルックアップカラムの値がエクスポートされない。
MDM-23640	タイムラインで有効にしたベースオブジェクトでルックアップとしてマークされていないルックアップカラムがあると、相互参照レコードビューで次のエラーが発生する。 SIP-10228: No record found for the specified RecordKey.
MDM-23639	タイムラインで有効にしたベースオブジェクトにルックアップとしてマークされていないルックアップカラムがあると、履歴ビューで、イベントの相互参照変更詳細とベースオブジェクト変更詳細を表示できない。エラーが発生する。
MDM-23617 MDM-23586	サブジェクト領域とルックアップテーブルで同じ名前を使用すると、ビジネスエンティティスキーマが正しく生成されない。この問題は、名前の大文字と小文字が異なる場合でも発生する。
MDM-23610	0.000 など、数値 0、位取り 3 が DB2 データベースに保存されている場合、位取りがレコードビューに保持されない。値が 0 として表示される。
MDM-23580	タイムラインで有効にしたベースオブジェクトでルックアップとしてマークされていないルックアップカラムがあると、ルックアップに基づいたレコードの検索で次のエラーが発生する。 SIP-14150: Data access failure in searchQuery. ORA-00918: column ambiguously defined.
MDM-23495	プロファイルを使用して特定の有効期間の検索結果をエクスポートすると、エクスポートしたデータの有効期間が異なる。
MDM-23494	カラムにデータマスキングを適用しても、データがベースオブジェクト変更詳細と XREF 変更詳細の履歴タブに表示され続ける。
MDM-23487	ビジネスエンティティスキーマが正しく生成されないため、タスクの承認を送信できない。
MDM-23440	【サブジェクト領域】 オプションが【新規】ウィンドウのオプションのみの場合、【サブジェクト領域】 オプションがデフォルトで選択されない。
MDM-23343	展開と縮小のアイコンが論理サブジェクト領域グループで正しく表示されない。
MDM-23325	サブタイプ修飾子が指定された依存ルックアップの値が正しくフィルタリングされない。
MDM-23319 MDM-17374	状態管理を使用しないデータセキュリティフィルタを使用すると、レコードを開くことができない。

参照番号	説明
MDM-23315 MDM-18399	@を含むハイパーリンクを追加すると、Data Director でテキストが正常に解析されず、誤ったハイパーリンクが保存される。
MDM-23314 MDM-19479	解消されたセキュリティの問題。
MDM-23313 MDM-20112	大文字と小文字を区別しないクエリを実行し、レコードをソートしようすると、エラーが発生する。
MDM-23311 MDM-20663	大文字のユーザー名のユーザーではタスクアクションが無効になる。
MDM-23309 MDM-20388	パッケージに 2 番目のパッケージへの結合が含まれている場合、最初のパッケージのクエリが失敗する。
MDM-23303 MDM-21428 MDM-5335	子レコードと孫レコードは同時に編集できるが、孫レコードに編集を適用して、子レコードの編集をキャンセルすると、NullPointerException が発生する。 このリリースではこの既知の制限事項を再現できません。
MDM-23296 MDM-17378 MDM-21361	値のない依存ルックアップに値を追加し、変更を承認のために送信するときに、承認タスクを開くことができない。
MDM-23220	子レコードが履歴ビューで表示されない。cmxserver.log に次のエラーが記録される。 SIP-14159 "Data access error when trying to process SEARCH QUERY REQUEST"
MDM-23155 MDM-23919	10.3 より前のバージョンからクエリをインポートできない。
MDM-23153 MDM-20388	パッケージに 2 番目のパッケージへの結合が含まれている場合、最初のパッケージのクエリが失敗する。
MDM-23152	ビジネスエンティティスキーマの生成に時間がかかる。
MDM-23140	HAProxy を Multidomain MDM と組み合わせて使用すると、Data Director でレコードの検索に失敗し、Data Director コンフィギュレーションマネージャが起動しない。502 bad Gateway エラーが発生する。
MDM-23117	サブジェクト領域でコロン (:) が含まれるセキュリティフィルタを使用すると、MDM Hub によって生成されるビジネスエンティティ設定が原因で、オペレーショナル参照ストア (ORS) メタデータ検証が失敗する。 以下のエラーが生成される。 SIP-MV-13042 Object name contains special characters. 修正後、セキュリティフィルタのコロンはアンダースコアに置き換えられました。例えば、セキュリティフィルタ URN:LSID:gsk.com/rd:list.DEX:582 は fv_URN_LSID_gsk_com_rd_list_DEX_582 に変わります。
MDM-23080 MDM-17575	getChangedChildren API が孫レベルで誤った結果を返す。

参照番号	説明
MDM-23077	レベル 2 の論理サブジェクト領域グループが機能しない。
MDM-22990	バージョン 10.1 からのアップグレード後、Data Director コンフィギュレーションマネージャを使用してビジネスエンティティスキーマを生成すると、誤解されやすい警告と情報メッセージが表示される。
MDM-22169	Data Director コンフィギュレーションマネージャでアプリケーションを検証すると、検証メッセージが複数の行に分かれ、完全なメッセージが表示されない。
MDM-23074 MDM-20106	保存したクエリカラムでサブジェクト領域属性の代わりにカラムのパッケージ属性を使用すると、検索中にエラーが発生する。
MDM-23068 MDM-15988	マージタスクを作成し、マージするレコードを選択すると、マージプレビューに誤った低い行 ID オブジェクト値が表示される。
MDM-22880 MDM-19581	タスクを開いた後、更新したデータを表示できない。
MDM-22855 MDM-20359 MDM-23071	階層マネージャで、リレーションを管理し、カスタムカラムフィールドに値を入力しようとすると、値がデフォルト値に戻る。
MDM-22781 MDM-18144	階層マネージャを使用してエンティティを作成すると、キャンバスにエンティティが表示されない。
MDM-21793 MDM-21085	レコードを作成するとき、一致候補が表示されない。
MDM-21427 MDM-17061	子レコードと孫レコードは同時に編集できるが、孫レコードに編集を適用して、子レコードの編集をキャンセルすると、NullPointerException が発生する。
MDM-21421 MDM-18126	Oracle データベース環境で、 【履歴】 ビューからイベント詳細を開くと、次のエラーが発生する。 ORA-01722: invalid number
MDM-20729	タスクインボックスで、作成日でタスクをフィルタリングできない。
MDM-19980 MDM-20524	【XREF】 ビューで、検索がログインしたユーザーの特権ではなく、管理者特権で実行される。
MDM-19956	大文字のユーザー名のユーザーではマージタスクアクションが無効になる。
MDM-19608 MDM-17267	すべてのデータビューで、データフィールドの空白が保持されない。
MDM-19421 MDM-18325	テキストフィールドの最大長を超えた場合でも、検証エラーが表示されない。 このリリースではこの既知の制限事項を再現できません。
MDM-18854 MDM-16419	【履歴】 ビューで、イベントの詳細を表示しようとすると、エラーが発生することがある。

参照番号	説明
MDM-18680 MDM-15764	複数のサブジェクト領域を持つアプリケーションで、ユーザーに割り当てられたタスクがタスクインボックスに表示されない。 このリリースではこの既知の制限事項を再現できません。
MDM-18632 MDM-16464 MDM-16240	指定された有効日付を使用して検索クエリを実行すると、検索結果に、子サブジェクト領域のレコードの値が正しく表示されない。
MDM-18483 MDM-16552	ユーザーがセカンダリワークフローエンジンで作成されたタスクを開くことができない。
MDM-18442 MDM-16527	子テーブルのルックアップカラムが高度な検索クエリに含まれていると、検索結果に子テーブルのルックアップフィールドの値が含まれない。 このリリースではこの既知の制限事項を再現できません。
MDM-18260 MDM-17386	レコードの作成後、そのレコードを編集または保存できない。
MDM-18163 MDM-17508	カスタムプロファイルまたはマルチスレッドを使用して、検索結果をエクスポートできない。 このリリースではこの既知の制限事項を再現できません。

プロビジョニングツールで解消された制限事項

以下の表に解消された制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-24323	プロビジョニングツールを使用して設定を修正すると、Elasticsearch インデックスが削除される。
MDM-23927	関連レコードを表示する関連レコードコンポーネントがレコード間のリレーションの方向を継承しない。この問題は、プロビジョニングツールを使用して設定する関連レコード（ビューモード）コンポーネントを使用するレコードビューレイアウトのみで発生します。問題を解決するために、新しい設定プロパティがプロビジョニングツールに導入されています。
MDM-22754	プロビジョニングツールのローカライズバージョンで、一部のユーザーインタフェース要素がローカライズされていない。
MDM-22329	フィールドフィルタが依存ルックアップフィールドで無効である。
MDM-20752	【履歴】 ビューで使用するデフォルトのカレンダー形式を変更できない。

検索で解消された制限事項

これまでスマート検索と呼ばれた、Elasticsearch または Solr の全文検索機能が強化されました。

Elasticsearch による検索

以下の表に解消された制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-24323 MDM-24297	プロビジョニングツールを使用して設定を修正すると、Elasticsearch インデックスが削除される。
MDM-24312	スマート検索データの初期インデックス処理ジョブを実行すると、Elasticsearch インデックスが削除される。
MDM-24135 MDM-24087	フィルタを適用しても、参照カラムのフィルタ数が更新されない。
MDM-23976 MDM-23931	親ビジネスエンティティが別のビジネスエンティティとも 1 対 1 の子であり、一部の検索可能フィールドが共通する場合、スマート検索データの初期インデックス処理ジョブが失敗する。
MDM-23835	検索文字列でアクセント文字を使用すると、レコードが見つからない。
MDM-23533	ベースオブジェクトに大量のルートレコードが含まれると、インデックスルックアップテーブルでメモリ不足のエラーが発生する場合がある。
MDM-23227	ベースオブジェクトクラスコードを変更すると、検索結果に重複するレコードエントリが表示される。
MDM-23189	ビジネスエンティティに 50 個以上の検索可能なフィールドを設定すると、インデックスが失敗する。
MDM-23188	検索の実行時に、MDM Hub では"and"、"an"、"is"などの一般的な語は無視されます。これらは停止ワードであり、提案元ではフィルタリングされません。
MDM-23182 MDM-18540	レコードのルックアップを変更すると、レコードの再インデックスが失敗する。
MDM-23093	レコードに依存ルックアップが含まれると、レコードをインデックス化する場合にロードの更新処理に予想以上の時間がかかる。
MDM-22963	重複レコードをマージしても、検索結果に重複レコードが表示される。

Solr による検索

以下の表に解消された制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-23293 MDM-22230	スマート検索が有効なノードで 2 つのプロセッササーバーを使用すると、検索にエラーが発生して失敗する。
MDM-23185 MDM-16751	検索文字列に AND または OR が含まれるスマート検索クエリが失敗する。
MDM-19005 MDM-17370	検索が有効になっている場合、一部のレコードを結合した後にレコードを検索すると、検索結果ページに重複するレコードが表示されることがある。

API サービスで解消された制限事項

以下の表に解消された制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-24593	ビジネスエンティティサービス呼び出しでルートレコードを更新すると、信頼スコアが低い子レコードのフィールド値が存続するレコード値になる。
MDM-24497	複数の子レコードレベルを持つ親レコードをマージ解除すると、孫レベルのレコードに誤った外部キーが割り当てられる。
MDM-24474	WebSphere 環境の ReadBE ビジネスエンティティサービスで次のエラーが発生する。 SIP-50101: You do not have the required privileges to view the business entity SupplierProductServices. To request additional role privileges, contact your MDM administrator.
MDM-24473	IBM DB2 環境の GetLookupValues SIF API で次のエラーが発生する。 SIP-14129: The unique ID is not valid. The UID format must be "<table name> <column name>". SIP-10323: There is no column with the name <Lookup column name>.
MDM-24426	検索レコード REST API が削除された子レコードを返す。
MDM-24405 MDM-21634	Tokenize API に対する呼び出しが失敗し、次のエラーが表示される。SIP-16011: Failed to gather metadata
MDM-23827 MDM-23771	WriteBE ビジネスエンティティサービスに対する POST 要求は単一の子レコードまたは親レコードフィールドを更新するが、親レコードおよびビジネスエンティティのすべての子レコードの lastUpdateDate 値が更新される。
MDM-23500	外部呼び出しを設定しても、ローカライズされた言語で検証メッセージが表示されない。
MDM-23076 MDM-17834	マルチスレッド SearchMatch API 要求が失敗し、次のエラーが表示される。
MDM-23067 MDM-16108	registerCustomTableObject SIF API を使用してステージングテーブルにカスタムジョブを登録すると、バッチグループにジョブを追加または削除することができない。
MDM-22938	defaultPageSize および recordsToReturn パラメータが検索レコード REST API で動作しない。
MDM-22885 MDM-16249	削除 SIF API を使用して子レコードを削除すると、削除された子レコードが一致ジョブで誤って一致する。
MDM-21398	デフォルトでは、Put または Cleanse Put 呼び出しは、SIF 要求で指定されたフィールドではなく、レコード内のすべてのフィールドに BVT 計算を適用する。
MDM-21229	Verbose エラーメッセージから情報がリークされる可能性がある。
MDM-23547 MDM-23156 MDM-22878	セカンドレベル依存ルックアップが親依存を無視し、すべての値を返す。
MDM-23052 MDM-19071	JVM を再起動すると、一部のモジュールの初期化が完了していなくても、サーバーが正常に起動していると誤って表示される。

参照番号	説明
MDM-19768 MDM-19186	相互参照レコードで SIF コマンドを実行すると、次のエラーが発生する可能性がある。 SIP-40609: Cannot edit the record. The PERIOD_REFERENCE_TIME that you specified is not within the effective period for the record you are editing.
MDM-19587 MDM-17086	executeBatchUnmerge SIF API の実行後、C_B_PARTY および C_B_PARTY_ALT_ID 間のリレーションが適切に設定されない。
MDM-18915 MDM-16881	完全一致ルールに子レコードからのカラムが含まれる場合、重複の検索操作で一致しない子レコードが返される。
MDM-18436 MDM-16422 MDM-24032	Delete Business Entity REST API でビジネスエンティティ内の子レコードを削除できない。REST API に NULL ポインタ例外が発生して失敗します。
MDM-18166 MDM-16683	改ページを指定する場合に depth パラメータを使用すると、REST API 要求が結果を返さない。
MDM-17744 MDM-14690	グローバル ID (GBID) にハイフン文字 (-) が含まれていると、REST 呼び出しが失敗する。
MDM-16921	深さが 2 未満の複数のビジネスエンティティレコードを取得すると、検索 REST API のパフォーマンスが低下する。この問題を解決するには、cmx.server.enrichcopager.thread_pool および cmx.server.enrichcopager.min_rec_for_multithreading プロパティを導入します。

実装された拡張要求

MDM Hub に実装された拡張要求（10.3 HF1）

以下の表に実装された拡張要求を示します。

参照番号	説明
MDM-23396	Oracle Database 18c が Multidomain MDM 10.3 HotFix 1 でサポートされるようになりました。
MDM-23203	Informatica ActiveVOS 9.2.4.5 が Multidomain MDM 10.3 HotFix 1 でサポートされるようになりました。
MDM-22997	IBM WebSphere アプリケーションサーバーバージョン 9.0 Fix Pack 10 で Multidomain MDM を展開する必要があります。Multidomain MDM 10.3 HotFix 1 は、9.0 Fix Pack 10 よりも前のバージョンの WebSphere をサポートしません。

参照番号	説明
MDM-22899	Red Hat JBoss Enterprise Application Platform (EAP) 7.1 で Multidomain MDM を展開する必要があります。 注: Red Hat for JBoss EAP 6.x によるメンテナンスサポートの終了日は 2019 年 6 月です。Red Hat からのサポート、バグフィックス、セキュリティパッチを継続するには、JBoss EAP 7.1 および Multidomain MDM 10.3 HotFix 1 にアップグレードすることをお勧めします。MDM 10.3 HotFix 1 は 7.1 よりも前のバージョンの JBoss EAP をサポートしません。
MDM-22798	JBoss アプリケーションサーバー環境内の Red Hat OpenJDK 8 で Multidomain MDM 10.3 HotFix 1 を実行できるようになりました。
MDM-22840 MDM-12129	相互参照レコードをリストアした場合、MDM Hub が JMS メッセージキューに格納されたメッセージをトリガできるようになりました。 相互参照レコードをリストアするイベントのメッセージトリガを設定するには、スキーママネージャを使用します。[メッセージトリガ] ページの [イベント] セクションで、[リストア] を選択します。これはこのセクションに含まれる新しいイベントです。
MDM-21658 MDM-16901	リソースキットで、AssignUsersToDatabase スクリプトは大文字を含むユーザー名をサポートするように更新されました。

プロビジョニングツールに実装された拡張要求（10.3 HF1）

概念の簡単な説明をここに入力します（必須）。

以下の表に実装された拡張要求を示します。

参照番号	説明
MDM-23946	ビジネスエンティティまたはビジネスエンティティビューをコピーし、一意の名前で保存できるようになりました。コピーにより、元のビジネスエンティティまたはビジネスエンティティビューからモデル全体が継承されます。必要に応じて、コピーにより、モデルに対するフィールドの追加、編集、および削除を行えるようになりました。
MDM-22815	プロビジョニングツールでアプリケーションエディタを使用して、Data Director アプリケーションで使用するデフォルトの日付を設定できるようになりました。また、ビジネスエンティティおよび参照エンティティモデルで特定の日付フィールドの表示形式に日付または日時も設定できるようになりました。設定した日付形式はすべてのレコードビューで表示されます。
MDM-22146	応答時間を短縮してプロビジョニングツールのパフォーマンスを改善しました。
MDM-21855	Data Director でタスクをトリガした場合に表示されるメッセージをカスタマイズできるようになりました。また、メッセージもローカライズできるようになりました。

Data Director に実装された拡張要求（10.3 HF1）

以下の表に実装された拡張要求を示します。

参照番号	説明
MDM-18259 MDM-16206	Save Handler ユーザーイグジットのバージョン 10.1 HF5 および 10.2 HF2 に追加された getChangedChildren メソッドが、このリリースで使用できない。
MDM-16761 MDM-15751	バージョン 10.1 HotFix 5 に追加された deleteMovedRelInExplorerView 設定が、このリリースで利用できる。

既知の制限事項

MDM Hub の既知の制限事項

以下の表に既知の制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-24156	SAML ベースの認証を使用すると、ユーザーが Data Director でレコードを検索したり、Hub コンソールにアクセスしたりできなくなる。 回避策: SAML ベースの認証を使用するには、MDM Hub で外部認証ユーザーとしてユーザーを作成します。

Data Director の既知の制限事項

以下の表に既知の制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-24518	関連付けられた大量の相互参照レコードが含まれるレコードをマージ解除すると、マージ解除処理が失敗する。
MDM-24431	レコードをマージすると、ビジネスエンティティに関連付けられたベースオブジェクトで状態管理が無効であっても、Data Director では、 【マージのプレビュー】 カラムに入力した値で誤った値が上書きされる。 回避策: 値を上書きする場合は、ビジネスエンティティが関連付けられたベースオブジェクトで状態管理を有効にします。
MDM-24385	Elasticsearch 検索エンジンを使用する場合、検索文字列にアクセント文字が含まれると、レコードが見つからない。 回避策: 検索文字列にアクセント文字を使用しないようにします。
MDM-24156	SAML ベースの認証を使用すると、ユーザーが Data Director でレコードを検索したり、Hub コンソールにアクセスしたりできなくなる。 回避策: SAML ベースの認証を使用するには、MDM Hub で外部認証ユーザーとしてユーザーを作成します。

参照番号	説明
MDM-24316	10.2 以前のバージョンからアップグレードすると、管理者以外のユーザーがアプリケーションにログインできない。プロビジョニングツールで作成したアプリケーションでアップグレードした Data Director アプリケーションと同じ名前を使用すると、この問題が発生する。
MDM-23745	40 を超える値を持つルックアップリストを含むカラムをソートすると、ソートが失敗する。

第 4 章

バージョン 10.3

この章では、以下の項目について説明します。

- [解消された制限事項, 37 ページ](#)
- [実装された拡張要求, 43 ページ](#)
- [既知の制限事項, 44 ページ](#)

解消された制限事項

MDM Hub で解消された制限事項（10.3）

以下の表に解消された制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-21652	解消されたセキュリティの問題。
MDM-21398	デフォルトでは、Put または Cleanse Put 呼び出しは、SIF 要求で指定されたフィールドではなく、レコード内のすべてのフィールドに BVT 計算を適用する。
MDM-21394 MDM-17424	バッチグループのすべてのジョブが完了しても、バッチグループのステータスが処理中のままである。
MDM-20972	XREF レコードを削除すると、HMRG テーブルが正常に更新されず、マージ解消エラーの原因となる。
MDM-20854	IBM DB2 環境で、階層マネージャを有効にすると、DB2 エラーで失敗する。
MDM-20068	親レコードのマージ解消後、親子リレーションテーブルの外部キーカラムが、子レコードの ROWID_OBJECT ではなく、子レコードの ROWID_XREF を指すように更新される。この問題は、子レコードに親レコードの ROWID_XREF を指す相互参照レコードが含まれる場合に発生します。
MDM-19967	Hub コンソールで変更を昇格するときに、昇格プロセスが想定よりも遅くなる。
MDM-19739	IBM DB2 環境で、外部照合を実行すると、照合が DB2 エラーで失敗する。
MDM-19684	長い auth_payload 値が生成され、ラインフィールドが含まれる場合に、auth_payload 値をカスタムロギングプロバイダで使用すると、エラーが発生する。

参照番号	説明
MDM-19681	次の条件が当てはまる場合でも、NULL 値がベースオブジェクトレコードに書き込まれない。 - ステージングテーブルカラムの【NULL の更新を許可する】プロパティが有効です。 - NULL 値はステージングテーブルカラム内で最も信頼された値です。
MDM-19658	特定のステージングテーブルカラムで有効化された差分検出を含むステージジョブを実行すると、すべてのレコードが RAW テーブルに書き込まれない場合がある。PKEY_SRC_OBJECT ステージングテーブルカラムにマップされているカラム内に NULL 値を持つレコードがスキップされます。
MDM-19651	IBM DB2 環境で、ベースオブジェクトカラムを削除すると、パフォーマンスが低下する。
MDM-19650	IBM DB2 環境で、ベースオブジェクトカラムを削除すると、パフォーマンスが低下する。
MDM-19645	Hub コンソールで、エンタープライズマネージャまたは Repository Manager を使用すると、ロールの取得時に NULL ポインタ例外が生成される。
MDM-19643	Parse Float データ変換クレンジング関数で、数値文字列データを float データに変換できない。
MDM-19644	Delete BO データイベントと Delete XREF データイベントのメッセージトリガを有効にすると、論理削除バッチロード操作中にメッセージが生成されない。
MDM-19174	MDM Hub カラムプロパティを設定する場合、デフォルト値を指定せずに NULL 値以外のカラムのカラム設定を保存しても、MDM Hub で検証エラーが生成されない。
MDM-19051	WebLogic 12.2.1.3.0 のインフラストラクチャバージョンで、siperian-mrm.ear ファイルの展開に失敗し、次のエラーが表示される。 weblogic.management.DeploymentException: java.lang.IncompatibleClassChangeError: Implementing class
MDM-18948	ロードプロセスでリレーションベースオブジェクトにレコードを挿入すると、親レコードが未処理としてマークされない場合がある。この問題は、親ベースオブジェクトに子ベースオブジェクトとの一致カラムがある場合に発生します。ロードプロセスでは、ベースオブジェクトに関連付けられた未処理のテーブルにレコードの ROWID_OBJECT 値は挿入されません。
MDM-18785	スマート検索で、複数の単語の検索用語を使用する場合、1 つの単語が欠落しているレコードは検索結果から除外される。
MDM-18372 MDM-18435	Hub コンソールのログインページで、誤ったユーザー名またはパスワードが入力されると、次の不明確なエラーメッセージが表示される。 SIP-09070: SIP-18017: Error occurred during user authentication, error was {0} java.lang.NullPointerException
MDM-18354	IBM DB2 環境で、4 つ以上のベースオブジェクトカラムを削除すると、トランザクションがタイムアウトになる場合がある。
MDM-18327	1 つのベースオブジェクトに関連付けられた複数の相互参照レコードを更新すると、読み込み後のユーザーイグジットに送られる相互参照レコードが 1 つだけである。
MDM-17881	無効なユーザークレデンシャルを使用して Hub コンソールにログインするまたは SIF を使用して認証すると、NULL ポインタ例外が発生する。
MDM-17367	localhost を使用してサーバーのキャッシュを初期化するときに、クラスタ化アプリケーションサーバー環境での localhost の使用はキャッシュ関連のパフォーマンスの問題を引き起こすと警告されない。

参照番号	説明
MDM-16433	次の条件が当てはまる場合でも、NULL 値がベースオブジェクトレコードに書き込まれない。 - ステージングテーブルカラムの【NULL の更新を許可する】プロパティが有効です。 - NULL 値はステージングテーブルカラム内で最も信頼された値です。
MDM-8723	コンソールモードで Hub サーバーをインストールしている間に ActiveVOS をインストールする場合、サービス接続タイプを選択するときに不正なプロンプトが表示される。
MDM-6187	MDM Hub は MTCH テーブルの ssaName3 からのマッチ率を保存しない。

Data Director で解消された制限事項（10.3）

以下の表に解消された制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-21160	タスクを開いた後、更新したデータを表示できない。
MDM-20965	パッケージに 2 番目のパッケージへの結合が含まれている場合、最初のパッケージのクエリが失敗する。
MDM-20888	解消されたセキュリティの問題。
MDM-20752	【履歴】 ビューで使用されるデフォルトのカレンダー形式を変更できない。
MDM-20664	大文字のユーザー名のユーザーではタスクアクションが無効になる。
MDM-20162	ビジネスエンティティがサブジェクト領域グループから正常に生成されない。
MDM-19984	【クエリ】 パネルで、最初のタブが選択した UI 言語ではなく英語で表示される。
MDM-19851	@を含むハイパーリンクを追加すると、Data Director でテキストが正常に解析されず、誤ったハイパーリンクが保存される。
MDM-19849	【データ】 ビューで、【重複の検索】を使用すると、想定以上にパフォーマンスが遅くなる。
MDM-19845	検索パッケージが、選択した有効期間に対して正しくない子レコードを返す。 この問題は、次の状況の場合に発生します。 - サブジェクト領域について構成されている検索パッケージは、親と子の基本オブジェクトを結合する表示パッケージである。 - 検索パッケージが結合する親と子の基本オブジェクトは、タイムラインが有効になっている。
MDM-19816	検索結果をソートしてから、ソートされたレコードをエクスポートすると、エクスポートされた CSV ファイルに重複レコードが含まれる。 検索に複数のテーブルが含まれる場合、ローカルのテーブル名をプレフィックスとしてソートカラムに含め、ソート順（DESC ASC）を指定する必要があります。例えば、ローカルのテーブル名が B0 で、カラム LNAME の降順でソートする場合、次の形式を使用します。 <urn:sortCriteria>B0.LNAME DESC</urn:sortCriteria>
MDM-19657	追加のワークスペースタブを設定すると、タブのタイトルが正しく表示されない可能性がある。

参照番号	説明
MDM-19785	シングルサインオン認証の環境で、ユーザー名にバックスラッシュ (\) が含まれるユーザーは Data Director にログインできない。
MDM-19656	大文字と小文字を区別しないクエリ検索を有効にすると、検索クエリのパフォーマンスが低下する。
MDM-19655	Microsoft Internet Explorer でプロビジョニングツールを開くと、変更をパブリッシュできない。
MDM-19647	シングルサインオン (SSO) を使用してログインした場合、タスクマネージャにアクセスできない。
MDM-19641	【履歴】ビューに、タイムラインが有効なベースオブジェクトレコードの正しくないデータが表示される。
MDM-19640	サブジェクト領域に同じ名前の複数の孫サブジェクト領域がある場合、生成されるビジネスエンティティスキーマが SIP-MV-17006 および SIP-MV-17005 メタデータ検証エラーで失敗する。
MDM-19642	マージのプレビューで、インラインクレンジング関数のクレンジング要求が多すぎるため、パフォーマンスの問題が発生する。
MDM-19636	Hub サーバプロパティの http-only および cookie-secure が機能しない。
MDM-19368	ログインすると、現在のユーザーのタスクがあるすべてのサブジェクト領域の長いタイトルがダッシュボードに表示される。 修正: 優先されるデフォルトのタイトルを表示するには、cmx.server.override_orstitle プロパティを cmxserver.properties ファイルの優先タイトルに設定します。
MDM-19176	関連するルックアップフィールドを持つレコードを【相互参照レコード】ビューで開けない。
MDM-19086	次のビジネスエンティティビュー設定のシナリオを使用すると、ビジネスエンティティ間のトランスフォーメーションが失敗する。 - ビジネスエンティティビューの子ノードには、親ノードとの間に 1 対多のリレーションがある。 - 親ノードは、ビジネスエンティティビューのルートノードではなく、その親と 1 対 1 のリレーションがある。
MDM-19049	rowid_object カラムなしで検索可能なルックアップを作成してリレーションを定義する場合、ビジネスエンティティスキーマが Data Director アプリケーションに対応するカラムを生成しない。
MDM-19021	ActiveVOS がワークフローエンジンの場合、同じ期限を持つ多数のタスクをフィルタ処理しようとするとフィルタが失敗する。
MDM-18947	【エクスポート】ダイアログボックスで、サブジェクト領域名がローカライズされていない。
MDM-18822	Microsoft Excel でデータインポート結果ファイルを開くと、マルチバイト文字が正しく表示されない。
MDM-18816	40 を超える値を持つルックアップリストを含むカラムをソートすると、ソートが失敗する。
MDM-18794	レコードの REST API 要求に有効日が含まれる場合、NULL ポインタ例外エラーが発生することがある。
MDM-18679	マージタスクを実行すると、想定以上にパフォーマンスが遅くなる。

参照番号	説明
MDM-18635	ビジネスエンティティを使用する Data Director アプリケーションで、 【閉じる】 アイコンがユーザーインタフェースタブに表示されない。
MDM-18564	ルックアップフィールドが 【一致するレコード】 ビューに表示されず、 【履歴】 ビューと 【相互参照レコード】 ビューではルックアップフィールドに正しくない値のリストが表示される。
MDM-18522	サブジェクト領域の子が孫レコードと 1 対 1 のリレーションを持っている場合、すべての検索結果をエクスポートすることができない。
MDM-18497	Get API 呼出しを作成して、子レコード内の、データが含まれていない有効日のデータを取得すると、要求はエラーを返す。
MDM-18434	エイリアスを含むルックアップカラムが高度な検索クエリに含まれていると、検索結果にルックアップフィールドの値が含まれない。
MDM-18415	親ベースオブジェクト内の外部キーカラムに対する更新権限がない場合、Put 要求が子ベースオブジェクト内のカラムの更新に失敗する。
MDM-18408	【重複の検索】 プロセスが子レコードレベルで誤った一致を返す。
MDM-18406	【データ】 ビューで、指定したカラムの長さを超える検索条件を使用して検索クエリを実行すると、次のエラーが発生してクエリが失敗する。 SIP-14150: Data access failure in searchQuery.
MDM-18263	【階層】 ビューで、管理者特権を持たないユーザーがレコードの 【詳細】 をクリックすると、管理ユーザーが確認できるすべてのデータが表示されない可能性がある。この問題は、サブパッケージがクエリパッケージで使用されている場合に発生します。
MDM-18212	タスクの基になっているサブジェクト領域の一部でない子または孫を持つタスクを承認しようとする、楽天的ロックの失敗によって承認プロセスが失敗する。
MDM-18211	ユーザー設定のページサイズが 0 に設定されている場合、検索結果が表示されない。
MDM-18197	【検索】 ページのサイズを変更できない。
MDM-18175	カスタム画面が Data Director に表示されない。
MDM-18069	MDM Hub マシン、JVM、およびデータベースに対してフランス語ロケールが設定されている場合、いくつかの数値形式が正しく保存されない。次のエラーが発生する可能性がある。 java.lang.NumberFormatException
MDM-18067	【履歴】 ビューでレコードを更新すると、長い表示名が正しく表示されない。
MDM-17965	レコードを更新し、変更を取り消すと、NULL ポインタ例外が発生する可能性がある。
MDM-17783	Informatica Data Director でマージ解除タスクを作成すると、マージ解除操作は次のエラーで失敗する。 com.informatica.mdm.api.unmerge.Unmerge: SIP-10228: No record found for the specified RecordKey
MDM-17763	類似したレコードが存在する場合でも、類似するレコードコンポーネントが空になる。
MDM-17756	ワークフロー管理に ActiveVOS を使用すると、すべてのタスク操作の実行に想定よりも時間がかかる。

参照番号	説明
MDM-17675	【一致するレコード】ビューに、ページナビゲーションコンポーネントがない。
MDM-17203	【承認】 または 【拒否】 などのタスクアクションを実行するときに、コメントの追加を要求される。
MDM-17128	【言語の変更】 オプションを使用して言語を変更する場合、【ログアウト】 オプションが選択した言語で表示されない。
MDM-17038	【新規】 ウィンドウのオプションがアルファベット順に表示されない。
MDM-17037	【検索】 ボックスのリストに多くのビジネスエンティティタイプがある場合、一部のエンティティタイプが表示されないことがある。
MDM-16931	Internet Explorer で、【ビジネスエンティティ】 ビューにレコードを表示する場合、【編集】 および 【削除】 アイコンがビジネスエンティティの参照フィールドに表示されない。
MDM-16440	【タスクの詳細】 ダイアログボックスを開き、コメントを追加してから、タスクを再割り当てすると、コメントが保存されない。
MDM-16146	検索を実行するときに、エラーメッセージが検索結果の上に表示される。この問題は、Data Director アプリケーションが LDAP を使用してユーザーを認証するときに発生します。
MDM-13701	タスクインボックスで、タスクの横に表示されるチェックボックスが、一括タスクアクションを実行できると提案する。

プロビジョニングツールで解消された制限事項（10.3）

以下の表に解消された制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-21116	サブジェクト領域をビジネスエンティティに変換する場合、ジェネレータがキーワードをフィールド名として処理できない。
MDM-20895	ビジネスエンティティを外部呼び出しで設定する場合、Data Director 内のそのビジネスエンティティに基づくレコードを正常に作成できない。
MDM-19679	サブジェクト領域の設定からビジネスエンティティを生成すると、次のシナリオでエラーが発生することがある。 - ビジネスエンティティ間に、多対多のリレーションが存在する。 - リレーションに、ルートノードではない「From」ノードがある。
MDM-14443	XML からビジネスエンティティへのトランスフォーメーションで、複数の XML ノードから単一のオブジェクトにデータをマップできない。

SIF API の解消された制限事項（10.3）

以下の表に解消された制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-20884	解消されたセキュリティの問題。
MDM-19678	Promote API 呼び出しが、SIF 要求で指定された保留中の相互参照レコードのフィールドのみを更新するのではなく、レコード内のすべてのフィールドを更新する。 MDM Hub が SIF 要求の一部であるフィールドにのみ BVT 計算を適用するように指定するには、cmxserver.properties ファイルで cmx.server.selective.bvt.enabled プロパティを true に設定します。
MDM-19677	エラーが Hub サーバログに記録されていても、ExecuteBatchAutoMatchandMerge API 呼び出しがエラーメッセージを返さない。
MDM-19653	JBoss 環境で、サービス統合フレームワーク（SIF）を使用して MDM Hub 操作を実行する場合、メモリ不足エラーが発生することがある。
MDM-19639	CleansePut API 呼び出しで正しい相互参照レコードを持つ子外部キーが更新されない。
MDM-19635	複数結合バッチジョブを実行する SIF API 呼び出しが失敗し、次のエラーが表示される。 SIP-23038: Internal error.The SQL statement generated the SQL error ORA-12899: value too large for column
MDM-18539	XREF およびベースオブジェクトテーブルを使用するプロビジョニング対応ベースオブジェクトに対して API 呼び出しを作成すると、要求は失敗してエラーを生成します。
MDM-18238	クレンジング関数呼び出しがエラーで失敗する。
MDM-18165	PromotePendingXrefs API 要求で、ROWID_XREF 値をレコード ID として使用すると、子サブジェクト領域レコードが昇格しない。
MDM-18154	CleansePut API 呼び出しを使用してレコードを追加すると、検索を使用してレコードを見つけない。

実装された拡張要求

MDM Hub に実装された拡張要求（10.3）

以下の表に実装された拡張要求を示します。

参照番号	説明
MDM-17859	Oracle WebLogic T3S プロトコルのサポートが追加されました。プロトコルの設定の詳細は、 <i>Multidomain MDM のセキュリティガイド</i> を参照してください。
MDM-16652	外部一致出力テーブルでマッチ率を表示することができます。

Data Director に実装された拡張要求（10.3）

以下の表に実装された拡張要求を示します。

参照番号	説明
MDM-19515	サブジェクト領域のビューで、値が固定幅フォントで表示され、空白が維持される。
MDM-18280	タスクの優先順位を付けるために、[ホーム] ページのタスクインボックスに、次のカラムが含まれる。 - 作成日。タスクが作成された日付が表示されます。 - 所有者。タスクの現在の所有者が表示されます。
MDM-16819	プロビジョニングツールで、Data Director アプリケーションに必須な添付やコメントを作成できる。

既知の制限事項

MDM Hub の既知の制限事項

以下の表に既知の制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-22756	HTTPS プロトコルでサポートツールを実行する場合、照合分析ツールから [CSM] タブに移動すると、エラーが発生する。
MDM-22777	ルックアップカラムを表示するように検索結果をカスタマイズし、ルックアップカラムを含むパッケージに値がない状態で検索を実行すると、検索結果にルックアップカラムが表示されない。
MDM-22691	親レコードと子レコードを照合する照合ジョブを実行すると、ActiveVOS コンソールのマージタスクは親レコードではなく子レコードを参照する。
MDM-22528	クレンジングトランスフォーメーションマッピングからパラメータを削除して変更を適用すると、パラメータをマッピングに追加できない。
MDM-22143	Multidomain MDM 10.3 for IBM DB2 と Dynamic Data Masking 9.8.4 を統合して、DB2 用のセキュリティルールセットを作成すると、影響を受けるマスターデータがマスクされない。
MDM-21986	自動マージプロセス中に前方一致レコードが作成されると、プロセスの実行が遅くなる可能性がある。
MDM-21984	MdmKeyStore クラスを使用するときに、ファイル記述子のリークが FileNotFoundException エラーを引き起こす。

参照番号	説明
MDM-21376	Zero Downtime 機能を備えた Oracle RAC データベース環境で、抽出プロセスで Oracle Golden Gate エラーが生成される。
MDM-22070	cmx.server.properties ファイルにこのリリースで導入されたプロパティが含まれていない。 回避策: アップグレード後にファイルにプロパティを追加してください。
MDM-19652	3 つ以上の相互参照レコードが関連付けられているレコードをマージ解除した場合、正しい最終更新日が反映される相互参照レコードは 1 つだけである。
MDM-19586	WHERE 句のパターンの検証ルールが適用されているとき、WHERE 句のパターンに一致するレコードだけではなく、すべてのレコードに対して信頼がダウングレードされる。
MDM-15369	中国語の文字がステージングテーブルに読み込まれると、一部の中国語の文字が破損する。
MDM-14943	WebSphere 環境で、Hub コンソールにログインすると、次の誤解されやすいエラーが表示される場合がある。 SIP-11101: クレンジング一致サーバーのライセンスが無効であるか期限が切れています。 回避策: Hub コンソールにログインする前に、-Dcom.ibm.crypto.provider.DoRSATypeChecking Java オプションが false に設定されていることを確認します。この Java オプションは、データ暗号化が許可され、パスワードのハッシュを機能させるために必要かどうかを指定します。
MDM-13617	WebSphere バージョン 8.5.5.9 環境で、クレンジングログにスタックトレースエラーが表示される。スタックトレースエラーは次のテキストから始まります。 v01/installedApps/INCMMDHUBQANode01Cell/siperian-mrm-cleanse.ear.ear/siperian-mrm-cleanse.war/WEB-INF/lib/com.informatica.mdm-siperian-cleanse-10.2.0-SNAPSHOT.jar!/resources/infinispanConfig.xml このエラーは無視しても問題ありません。
MDM-13372	Microsoft SQL Server と JBoss の環境で、MDM Hub のデプロイ後にアプリケーションサーバーを再起動すると、エラーが発生する。このエラーは無視しても問題ありません。
MDM-12164	更新されたベースオブジェクトレコードに関連付けられた相互参照レコードを削除すると、削除操作が失敗する場合がある。これは、PUT_UPDATE_MERGE_IND 相互参照テーブルのカラムが原因です。
MDM-12129	必要なメッセージトリガが有効でも、復元 API が MQ メッセージをトリガしない。

参照番号	説明
MDM-11898	複数のベースオブジェクトで BVT バージョンの抽出バッチジョブを実行すると、最終抽出日が設定されない。
MDM-10792	パーティション化されたテーブルがデータベースに含まれている場合、メタデータ検証プロセスで次の警告が生成される。 SIP-PV-10233 (31) - The tablespace of a table in the database differs from the tablespace specified in the metadata. この警告は無視して構いません。
MDM-10476	1 つのレコードと大量の相互参照レコードのマージを解除すると、プロセスサーバーでメモリ不足エラーが生成される。
MDM-10201	変更リストを階層が有効になったスキーマに昇格させるには、MDM Hub 管理者特権が必要となる。
MDM-9902	ベースオブジェクトで「相互参照の昇格の履歴を有効にする」を有効にしても、相互参照の昇格の履歴が保持されない。
MDM-9816	WebSphere を使用してポートが異なる 2 つのマッピングレットがある Informatica Data Quality クレンジング関数を更新すると、次のエラーが表示される。 SIP-11134: Compile failed for compile command
MDM-9604	ビジネスエンティティ設定を使用して空の変更リストをオペレーショナル参照ストアに昇格させると、昇格に失敗して次のエラーが表示される。 'CO CS Configs\TaskConfiguration\Task Types\AVOSBeNotification\Task Roles\DataSteward' が依存しているため、オブジェクトを削除できません。 (deleteRole[id:ROLE.DataSteward]) 回避策: DataSteward ロールをターゲットのオペレーショナル参照ストアから削除してから、変更リストを昇格させます。
MDM-9220	MDM Multidomain Edition バージョン 9.6.1 から変更リストをインポートまたは昇格できない。
MDM-8738	MDM Hub ログファイル cmxserver.log が、指定された最大ファイルサイズを超えて増加する。
MDM-8588	初めて Hub コンソールでスキーマをインポートするときに、次のエラーが表示されることがある。 missing initial moveto in path definition このエラーは無視しても問題ありません。
MDM-8060	MDM Multidomain Edition バージョン 9.7.1 から変更リストをインポートまたは昇格すると、プロキシロールエラーが生成され、変更リストがインポートまたは昇格されない。

参照番号	説明
MDM-7786	新しいロールをユーザーに追加すると、オペレーショナル参照ストアが「無効」としてマークされる。
MDM-7592	ベースオブジェクトのカラムにマッピングされていないソースシステムで、カラムの有効な値が NULL 値でオーバーライドされることがある。例えば、SourceA と SourceB が BaseObjectC に関係しているとして、SourceA は、最小信頼度と最大信頼度の設定がゼロの状態 で ColumnX にマッピングされています。SourceB は、ColumnX にマッピングされておらず、その信頼設定はありませんが、BaseObjectC のほかのカラムにマッピングされています。SourceB で BaseObjectC が更新されると、ColumnX が誤って NULL 値で更新されます。 回避策: SourceA の最小信頼度の設定を 2 以上に変更します。
MDM-5830	MDM Hub のインストール後に、WebSphere アプリケーションサーバーのユーザー名とパスワードがインストールログに表示される。
MDM-1578	Hub コンソールのデータマネージャツールでアクティブな相互参照レコードを削除すると、レコードは削除されるがエラーが発生する。このエラーは無視しても問題ありません。

Data Director の既知の制限事項

以下の表に既知の制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-22587	タイムラインに基づく検索結果をエクスポートするときに、エクスポートプロセスがタイムラインを無視してすべてのデータをエクスポートする。
MDM-21988	ユーザーがタスクを要求するときに、タスクがまだ要求されていないことを確認するメッセージがタスクインボックスに表示されない。
MDM-18157	Chrome で、インタフェースを中国語で表示すると、一部のボタンラベルが切り捨てられる。

ビジネスエンティティを使用する Data Director

エンティティビューはビジネスエンティティに基づいています。これらのビューを使用するには、Data Director アプリケーションをサブジェクト領域からビジネスエンティティにアップグレードします。

参照番号	説明
MDM-22817	子レコードを子レコードに存在しない日付でフィルタリングすると、一致しない日付のレコードが表示される。
MDM-22815	エンティティ 360 フレームワークでは、カレンダーで使用されるデフォルトの日付形式を変更できます。 デフォルトの日付形式を変更するには、テキストエディタを使用して、プロパティ DATE_TIME_LONG_FORMAT を含む bundleE360.properties ファイルを作成します。次に、bundleE360.properties ファイルを以下の場所に追加します。 infamdm\hub\server\resources\entityE360 注: entityE360 ディレクトリがない場合は、このディレクトリを作成します。
MDM-22811	簡単なマージコンポーネントで、日付値を変更するときに、カレンダーが正しく表示されない。 回避策: 日付を入力します。
MDM-22519	検索結果の一部の行が空になる。ユーザーにレコードを表示する権限がないため、行にフィルタで除外されたレコードが表示されます。 回避策: MDM 管理者は検索インデックスを削除する必要があります。プロビジョニングツールから、ビジネスエンティティを開き、検索可能フィールドを追加または更新します。検索可能設定への変更により、インデックスが削除されます。ビジネスエンティティのデータを再インデックス処理します。
MDM-22369	タスクから変更されたレコードをプレビューするときに、プレビューで子レコードの一部の変更された値の横に変更バーが表示されない。
MDM-21692	カレンダーのコントロールがローカライズされていない。
MDM-18665	[ステータスコード] コードを削除するときに、次のエラーが発生する。 Cannot read property 'taskId' of undefined 回避策: このフィールドは、編集はできますが削除はできません。
MDM-14958	検索ボックスのドロップダウンリストで、リストがブラウザウィンドウの高さを超えている場合、リストをスクロールして画面に表示されていない項目を表示することができない。 回避策: ブラウザで、全画面モードに切り替えます。リストの残りの部分が表示されるまで解像度を上げます。
MDM-14952	【履歴】 ビューで、[オプション] メニューのタイムスケールラベルが最初は正しく表示されない。 回避策: タイムスケールラベルのタイムスケールを操作して、正しく表示されるようにします。
MDM-14933	【階層】 ビューで、履歴の 【リレーション】 タブのビジネスエンティティが [ビジネスエンティティ] ビューで開かない。 回避策: 検索ボックスを使用してビジネスエンティティを検索し、そのエンティティをビジネスエンティティビューで開きます。
MDM-14932	【タイムライン】 ビューで、 【リレーション】 タブに表示されるリレーションを開くことができない。

参照番号	説明
MDM-14920	【階層】 ビューの【エンティティの詳細】ダイアログボックスで、【詳細】をクリックすると、選択したビジネスエンティティが開かずにダイアログボックスが閉じる。 回避策: 検索ボックスを使用してビジネスエンティティを検索し、そのエンティティをビジネスエンティティビューで開きます。
MDM-14919	【階層】 ビューで、アンカーエンティティの【アクション】 > 【新しいタブで開く】オプションで新しいタブが開かない。
MDM-14918	【階層】 ビューで、アンカーエンティティの【アクション】 > 【編集】 > 【エンティティの編集】オプションでビジネスエンティティが開かない。 回避策: 【表示】リストから、ビジネスエンティティビューを選択します。
MDM-14890	Microsoft Internet Explorer 10 で、ビジネスエンティティビューから【ログアウト】ボタンが表示されず、履歴ビューで詳細が正しく表示されない。 回避策: サポートされる別のブラウザを使用します。
MDM-14781	【一致するレコード】 ビューで、子レコードをターゲットレコードとして選択するときに、インタフェースで保留中状態のレコードを選択できるが、保留中のレコードはマージプロセスに参加できず、マージが失敗する。 回避策: アクティブ状態の子レコードをターゲットレコードとして選択します。
MDM-14460	アプリケーションサーバーのタイムゾーンがクライアントのタイムゾーンと異なる場合、履歴ビューのイベントの時刻がイベントの詳細パネルの時刻と異なる。
MDM-14385	マージ操作およびマージ解除操作の詳細を表示すると、【更新者】フィールドまたは【作成者】フィールドのユーザー名の先頭に e360 が付く場合がある。
MDM-14327	ビジネスエンティティの子レコードの検索結果が複数のページにわたり、表示されるページの範囲外のページ数を入力した場合、それ以降に検索結果のページを表示しようとするとう失敗し、エラーが発生する。
MDM-11397	mdm_sample オペレーショナル参照ストアを使用している場合、個人ビジネスエンティティの電話番号を追加または更新できない。 回避策: 個人ビジネスエンティティの電話番号を追加または更新する前に、次の手順を実行します。 1. Hub コンソールで、【クレンジング関数】 ツールを起動して、書き込みロックを取得します。 2. 【カスタム】 > 【電話番号の解析 - 該当なし】 をクリックします。 3. 【電話番号の解析 - 該当なし】 機能の【詳細】 タブをクリックします。 4. 【条件】 を右クリックし、【条件の編集】 をクリックします。 5. 【条件の編集】 ダイアログボックスで、各ケース値について、国コードを+1 から 1 に変更します。 6. 変更内容を保存し、リポジトリマネージャを使用してメタデータを検証します。
MDM-8768	アップグレードしてリポジトリテーブル c_repos_component_instance からすべての構成ファイルを削除した後で、Informatica Data Director に最初にログインしたユーザーのタスクマネージャのインボックスにタスクが表示されない場合がある。 回避策: Informatica Data Director からログアウトし、再度ログインします。

参照番号	説明
MDM-8764	サブジェクト領域設定からビジネスエンティティスキーマを生成する場合、必須ルックアップフィールドがビジネスエンティティビュー設定またはトランスフォーメーション設定に含まれない。 回避策: プロビジョニングツールで、欠落している設定コードを追加します。 1. 【詳細設定】 > 【ビジネスエンティティビュー (XML)】 を選択します。 2. 次のコードをルックアップ設定に追加します。 <code><ns2:field name="<missing field name>" /></code> 3. 【詳細設定】 > 【トランスフォーメーションの設定 (XML)】 を選択します。 4. 次のコードを co2view 設定に追加します。 <code><input name="<missing field name>" field="<missing field name>" /> <output name="<missing field name>" field="<missing field name>" /></code> 5. 次のコードを view2co 設定に追加します。 <code><input name="<missing field name>" field="<missing field name>" /> <output name="<missing field name>" field="<missing field name>" /></code> 6. 【詳細設定】 > 【ビジネスエンティティ (XML)】 を選択します。 7. 次のコードをルックアップ設定に追加します。 <code><ns2:field name="<missing field name>" label="<missing field name>" column="<missing column name>" required="true" /></code> 8. 【更新】 をクリックします。 9. 【検証してパブリッシュ】 をクリックします。
MDM-8606	【一致するレコード】 ビューで、レコードをマージすると、システムが応答しないように見える場合がある。 回避策: マージジョブが終了するまで待機します。
MDM-7597	レコードを削除した後でそのレコードを検索しても、削除したレコードの ROWID が依然として表示される。
MDM-5715	Internet Explorer 9 および 10 では、検索結果をタイプでグループ化すると、その後で検索結果を展開できない。 回避策: Internet Explorer 11、または Chrome、Safari、Firefox などの代替ブラウザを使用します。
MDM-5333	ビジネスエンティティの子レコードでは一致とマージがサポートされず、子レコードに一致レコードを追加しようとすると、データが破損する可能性がある。
MDM-2699	カレンダーで、1000 年 1 月 1 日より前の日付を設定できない。
MDM-2584	【タスクマネージャ】 で、タスクをタスク ID、タスクタイプ、またはタスクステータスでソートできない。
MDM-2574	タスクインボックスで、所有者のフィルタを 【要求なし】 に設定しても、引き受けが解除されたタスクのリストが返されない。

サブジェクト領域を使用する Data Director

従来のビューはサブジェクト領域に基づいています。

参照番号	説明
MDM-16464	指定された有効日付を使用して検索クエリを実行すると、検索結果に、子サブジェクト領域のレコードの値が正しく表示されない。
MDM-14872	【一致】 ビューで、ユーザーはすでに他のレコードとマージすることが選択されているレコードをマージ候補として追加できるが、レコードをマージ候補として追加すると、エラーが発生する。
MDM-13787	【XREF】 ビューで、相互参照レコードのマージ解除タスクがすでに存在していてもそのレコードをマージ解除するように選択できるが、重複するマージ解除タスクが処理されるときにエラーが発生する。
MDM-10613	【階層】 ビューで、リレーションおよびリレーションレコードの終了日が IDD SMOS システムとは異なるソースシステムのものである場合、既存のリレーションレコードが削除される。
MDM-9796	【階層】 ビューの【フィルタ】 タブでエンティティタイプを無効にすると、これらのエンティティとのリレーションを作成できない。 回避策: リレーションを作成する前に、【フィルタ】 タブを開き、リレーションで使用するエンティティタイプを選択します。

プロビジョニングツールの既知の制限事項

以下の表に既知の制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-22531	読み取り専用フィールドに複数のデフォルト値を設定すると、プロビジョニングツールが検証エラーを表示する。 回避策: クレンジングジョブを使用して、読み取り専用フィールドにデフォルト値を設定します。
MDM-22457	重複名のあるレイアウトをパブリッシュすると、パブリッシュプロセスがエラーで失敗する。
MDM-22444	ビジネスエンティティでフィールドを読み取り専用にマークすると、そのフィールドでのクレンジングトランスフォーメーションが失敗する。 回避策: ビジネスエンティティビューでフィールドを読み取り専用としてマークします。
MDM-21991	レコードビューに従来の【マージのプレビュー】が含まれている場合、プロビジョニングツールがエラーを表示する。
MDM-20600	Hub コンソールからベースオブジェクトを削除するときに、プロビジョニングツールはベースオブジェクトを表示し続け、検証エラーを生成しない。 回避策: ベースオブジェクトを削除する場合、プロビジョニングツールで関係するビジネスエンティティを更新します。
MDM-14749	Hub コンソールでベースオブジェクトを削除すると、プロビジョニングツールで依存関係がビジネスエンティティ設定から削除されない。 回避策: プロビジョニングツールで、ベースオブジェクトの依存関係を削除します。

参照番号	説明
MDM-14255	ビジネスエンティティトランスフォーメーションに対する XML を設定すると、子ノード要素のクレンジングトランスフォーメーションでのマッピングに親ノードフィールドを使用できない。 回避策: マッピングする親要素へのパスを手動で入力します。サービスデータオブジェクト (SDO) の XPath 式を使用します。ここで、/はルート XML 要素を表しています。例えば、address 子ノードのトランスフォーメーションで、dunsNumber 親要素にアクセスするには、パス/OrderCompanyProfileResult[1]/ServiceResult[1]/OrderProductResponseDetail[1]/InquiryDetail[1]/DUNSNumber[1]を使用します。
MDM-14528	別のトランスフォーメーションと同じ名前でトランスフォーメーションを作成した場合、検証エラーメッセージが表示されない。エラーが表示されるのは、変更内容をパブリッシュしようとした場合のみです。
MDM-14521	Chrome Web ブラウザでプロビジョニングツールを使用すると、Chrome が応答しなくなる場合がある。
MDM-14449	2 つ以上のビジネスエンティティで参照される参照エンティティでフィールドを検索可能にすると、フィールドがすべてのビジネスエンティティで検索可能になる。 さらに、どのビジネスエンティティでも参照されない参照エンティティでフィールドを検索可能にすると、フィールドが検索できなくなります。 回避策: 1 つのビジネスエンティティでのみ参照される参照エンティティでフィールドを検索可能にします。
MDM-13754	書き込みロックが Hub コンソールで取得されると、プロビジョニングツールが想定どおりに機能しない。
MDM-8844	プロビジョニングツールを使用して設定の変更をパブリッシュする場合、IDD コンフィギュレーションマネージャでビジネスエンティティスキーマを生成すると、これらの変更を上書きできる。
MDM-8668	【モデリング】 ページから、システムカラムにアクセスして編集できる。 回避策: システムカラムを編集しないようにします。
MDM-7219	最後のスラッシュを省略すると、プロビジョニングツールの起動に失敗する。 回避策: http://host:port/provisioning/ のように、URL の最後にスラッシュを追加します。

ビジネスエンティティサービスの既知の制限事項

以下の表に既知の制限事項を示します。

注: 以前のリリースでは、ビジネスエンティティサービスは複合サービスと呼ばれていました。

参照番号	説明
MDM-14375	GetRelated SOAP API で複数の recordState を指定すると、エラーが発生する。
MDM-13715	レコードを WriteCO API とマージすると、エラーが発生する。
MDM-10553	削除された孫レコードに対して複合サービス読み取りを実行しても、データが返されない。

Solr を使用した検索の既知の制限事項

検索とは検索可能に設定されたフィールドでの全文検索のことを指します。Solr を使用した検索は、以前はスマート検索と呼ばれていました。

以下の表に既知の制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-22690	レコードを検索すると、ビジネスエンティティを使用する Data Director アプリケーションには適用されないアクションが検索結果に含まれる。
MDM-20998	SIF API またはビジネスエンティティサービスを使用するプロセスの削除を実行すると、検索インデックスが削除されない。
MDM-14953	スマート検索データの初期インデックス処理ジョブが次のエラーで失敗する場合があります。 SIP-52050: Failed to retrieve the ZooKeeper client instance because the connection to the ZooKeeper client instance timed out. No collection linked. 回避策: 10 分後にジョブを再実行します。同じエラーが再び発生する場合、アプリケーションサーバーを再起動してジョブを再実行します。
MDM-14945	保留中のレコードを削除した後で、cmxserver.log ファイルに次のエラーが表示される。 [ERROR] com.informatica.mdm.sss.SmartSearchMDB: SIP-11041: Communication error "invalid stream header: 3C3F786D" occurs when making a request to Process Server
MDM-14944	ビジネスエンティティ名にアンダースコアが含まれていると、スマート検索データの初期インデックス処理ジョブが失敗する。 回避策: ビジネスエンティティ名にアンダースコアを使用しないようにします。
MDM-11238	二重引用符 (") で囲まれた検索文字列を使用して完全一致検索を実行すると、検索で予期された結果が返されない場合があります。 回避策: 各二重引用符の前にバックスラッシュ (\) を付けて再び検索します。例: \"Robin Williams\"
MDM-10723	検索可能なフィールドとしてフィールドを設定すると、検索要求が失敗することがある。 回避策: 次のいずれかのタスクを実行します。 - 次の URL を使用してコレクションを再ロードします。http://<Host Name>:<Port>/MDESolr/admin/collections?action=RELOAD&name=<Collection Name> Host Name は、ZooKeeper サーバーとして使用するプロセスサーバーのホスト名を示し、Port は、プロセスサーバーがリスンするポート番号を示します。Collection Name は、フィールドを追加したコレクションまたはビジネスエンティティの名前です。 コレクション名は、次のディレクトリから取得できます。<MDM Hub Installation Directory>\hub\cleanse\solr 例えば、4d5354312e375056.Person は Person ビジネスエンティティのコレクション名です。 - アプリケーションサーバーを停止し、ZooKeeper データディレクトリを削除して、アプリケーションサーバーを再起動します。

参照番号	説明
MDM-10389 MDM-11925 MDM-12691	検索要求で次のいずれかのエラーが返される場合がある。 - [SearchService_30027]Exception occured while getting query the constructor - An internal error occurred. Contact an administrator to get more information for the client tool logs. If the administrator cannot determine the cause of the error, contact Informatica Global Customer Support. 回避策: アプリケーションサーバーを再起動して再試行します。同じエラーが発生する場合、次のタスクを実行します。 1. アプリケーションサーバーを停止します。 2. ZooKeeper データディレクトリを削除します。 3. 複数のプロセスサーバーで検索を有効にした場合、次のディレクトリを削除します: <MDM Hub Installation Directory>\hub\cleanse\solr 4. アプリケーションサーバを再起動します。 5. solr ディレクトリを削除する場合、スマート検索データの初期インデックス処理ジョブを実行します。 6. 検索を再度実行します。
MDM-9805	REST サービスの WADL ファイルの期限が切れている。 回避策: REST サービスの詳細については、『<i>Multidomain MDM ビジネスエンティティのサービスガイド</i>』を参照してください。
MDM-8488	負の数値を検索するか、負の数値を使用して検索結果をフィルタリングすると、次のエラーが表示される。 [SIP-11008] SIP-11008: [SearchServiceClient_00028] You cannot use the following operators in the search string: AND, NOT, -, and OR. Add + before each search word if the search results must contain the word. Do not add + if the search word is optional or single word.
MDM-8598	アプリケーションサーバーの再起動後、スマート検索データの初期インデックス処理ジョブまたは検索要求でアプリケーションサーバーログファイルに次のエラーが返される。 No live SolrServers available to handle this request 回避策: アプリケーションサーバーを再起動します。
MDM-8161	多数の結果を表示するように検索を設定すると、ブラウザによっては、一部のレコードが表示されなかったり、応答しなくなったりすることがある。
MDM-5785	検索要求で 1970 年より前の日付がファセットされない。
MDM-4753	検索 UI に同じ名前の 2 つのフィルタが表示され、フィルタ対象のオブジェクトが識別されない。フィルタフィールドは一意である必要はありません。ルートオブジェクトと子オブジェクトの両方に同じ名前 (Name など) のフィールドを割り当てることができ、両方のフィールドをフィルタとして設定できます。 回避策: ルートオブジェクトとその子オブジェクトのカラム名が一意になるようにします。
MDM-3289 HORA-52192	複合オブジェクトに displayName というフィールドが含まれていない場合、検索を実行すると、[検索] ワークスペースの [名前] カラムにランダムなフィールド値が表示される。 回避策: [名前] カラムにフィールド値を設定するには、データベースツールを使用して C_REPOS_CO_CS_CONFIG テーブルを開き、SEARCHABLE_CO 設定タイプの BLOB データの該当フィールドに複合オブジェクトの [displayName] プロパティを設定します。
MDM-3235	スマート検索データの初期インデックス処理ジョブを 2 回以上実行すると、このジョブから不正なメトリックが返されることがある。

参照番号	説明
MDM-2644	プロセスサーバーで検索を有効にすると、メモリ不足でコレクションの作成が失敗しても、アプリケーションサーバーログファイルには関連するエラーメッセージが何も記録されない。
MDM-1799	負の値を検索すると、検索要求によって一致する正と負の値が返される。

ビジネスプロセス管理の既知の制限事項

次の表に、既知の制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-22814	Siperian ワークフローエンジン。要求済みタスクを再割り当てしようとすると、[タスクの編集] ダイアログボックスの割り当てリストが空になっている。
MDM-14205	サンプルのオペレーショナル参照ストアを使用する場合、Hub コンソールで Workflow Manager を開くとエラーが発生する。サンプルのオペレーショナル参照ストアでは、MDM_SAMPLE.C_REPOS_DB_RELEASE の WORKFLOW_ENGINE_NAME の値が CMX_SYSTEM.C_REPOS_WORKFLOW_ENGINE の NAME の値と一致しません。 次のいずれかの回避策を実行します。 - ビジネスエンティティベースのワークフローエンジン ActiveVOSBE が存在しない場合、設定に追加する。 - または、サンプルのオペレーショナル参照ストアの設定を、既存のビジネスエンティティワークフローエンジンの名前に更新する。CMX_SYSTEM.C_REPOS_WORKFLOW_ENGINE カラムで、値を ActiveVOSBE に変更します。
MDM-13359	ActiveVOS を使用している場合、ユーザーがマージ解除タスクを作成したロールに属し、同時にそのタスクタイプを承認するロールにも属することはできない。ユーザーが両方のロールに属している場合、ユーザーがマージ解除タスクを承認しようとするとエラーが発生します。
MDM-12011	MDM Hub と ActiveVOS をインストールすると、postInstallSetup.log ファイルで次の例外が発生する。 <pre>java.util.concurrent.RejectedExecutionException</pre> この例外は無視しても問題ありません。
MDM-9079	ActiveVOS コンソールで、[MDM ID プロバイダ] ページの [MDM 接続設定パスワード] フィールドに、MDM Hub ユーザー名 admin のパスワードを入力する必要がある。他のユーザーが管理権限を持っていたとしても、そのユーザーのパスワードを使用することはできない。
MDM-9041	複数のワークフロートリガがアクションに適用されている場合、後続のトリガがビジネスエンティティに固有であっても、最初に適用できるトリガが適用される。 回避策: タスク構成ファイルで、ビジネスエンティティ固有のトリガをファイルの先頭に配置します。一般性の高いトリガをファイルの末尾に配置します。
MDM-8763	MDM Hub と埋め込み ActiveVOS を同時に Linux 環境にインストールすると、postInstallSetup.log に次のエラーが表示される。 <pre>[exec] Unable to locate tools.jar. Expected to find it in /data/tmp/install.dir.12594/Linux/resource/lib/tools.jar</pre> このエラーは無視しても問題ありません。

参照番号	説明
MDM-8622	バージョン 9.7.1 から ActiveVOS タスクをインポートする場合、バッチファイルを実行してプレゼンテーションパラメータをタスクに追加すると、エラーが発生する。 このエラーは無視しても問題ありません。
MDM-8086	MDM Hub によって設定されたタスクの優先度を使用して ActiveVOS エスカレーションをトリガできない。
MDM-6473	サイレントインストーラのプロパティ AVOS.ORACLE.CONNECTION.TYPE が SID に設定されると、Hub サーバーのサイレントインストールプロセスで不正な ActiveVOS データベース URL が設定される。 回避策: Hub サーバーのサイレントインストールを実行する前に、サイレントインストーラのプロパティ AVOS.ORACLE.CONNECTION.TYPE を Service Name に設定します。
MDM-5290	BPM アダプタを変更すると、マージタスクの数が正しくカウントされず、数がマージタスクのしきい値を超える場合がある。 回避策: _MTCH テーブルで ROWID_TASK カラムの値を NULL に設定します。

Resource Kit の既知の制限事項

次の表に、既知の制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-14102	Web サンプルの LookupWebServiceExample をデプロイすると、MDM Hub でアプリケーションサーバーログファイルにエラーが生成される。このエラーは無視しても問題ありません。

サンプルのオペレーショナル参照ストアの既知の制限事項

以下の表に既知の制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-14684	アップグレード後、IDD 構成を検証すると、タスク構成ファイルに SrManager ロールが存在しないことを示すエラーが発生する。 回避策: SrManager ロールを追加します。 1. Hub コンソールで、必要な特権を持つ SrManager ロールを追加します。 2. Hub コンソールでリポジトリマネージャを使用して、メタデータを検証します。 3. リポジトリテーブル C_REPOS_CO_CS_CONFIG を切り詰めます。 4. IDD コンフィギュレーションマネージャで、IDD アプリケーションのビジネスエンティティスキーマを生成します。
MDM-14434	エンティティビューでルックアップカラムの値の完全なリストが表示されない。 回避策: Hub コンソールでデータベースツールを使用し、ルックアップベースオブジェクトの GETLIST 上限を 300 に設定します。

サービス統合フレームワークの既知の制限事項

以下の表に既知の制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-19151	DeleteMatches サービスが InteractionID によりブロックされたデータを正しく処理しない。
MDM-8880	SIF 呼び出しにより、LAST_UPDATE_DATE カラムと UPDATED_BY カラムが不正なデータで更新される。
MDM-593	Windows オペレーティングシステムの Microsoft SQL Server 環境で、SearchMatch が複数のスレッドを使用して実行されていると、次のエラーが発生する。 SIP-10226=Error in building query to run MATCH verb. 回避策： 次のエントリをレジストリサブキー HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\Tcpip\Parameters に追加します。 値の名前: MaxUserPort 値のタイプ: DWORD 値のデータ: 65534

Informatica プラットフォームの既知の制限事項

次の表に、既知の制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-18229	Linux 環境で、Informatica プラットフォームをインストールするオプションが使用できない。

Informatica Data Controls の既知の制限事項

以下の表に既知の制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-8950	Microsoft Internet Explorer 11 で、[インポート] をクリックすると [プロアクティブな一致] ウィンドウが応答を停止する。 回避策: Java Server Page ファイルで、ホストページの互換モードを有効にします。